



尾張旭市第六次総合計画におけるまちづくりの進捗状況 報告書（令和7年度実績）

1. はじめに

- 第六次総合計画では、計画期間10年間のまちづくりを進めるに当たり、めざすまちの未来像を「幸せつむぐ 笑顔あふれる 尾張旭」とし、その実現に向けて、『「暮らしやすさ」に「楽しさ」を加えます』、『「自分らしく」を応援します』、『「子育てしやすいまち」の魅力を高めます』、『「人とのつながり」を大切にします』の4つのまちづくりの基本方針と8つの分野の基本目標・29の施策を定めています。
- そして、まちづくりの基本方針ごとに重点的に実施する「主な取組」を抽出し、パッケージ化した「重点パッケージ」により、関連する取組を分野横断的に連携し、総合的に進めることで、成果の向上を図っています。
- この報告書は、「重点パッケージ」及び「基本目標」ごとの指標や取組状況を把握し、その評価を行うことにより、計画的なまちづくりの推進や効率的な行政運営につなげていくものです。

2. まちづくりの基本方針（重点パッケージ）のまとめ

(1) 「暮らしやすさ」に「楽しさ」を加えます

【指標値の動向】

- ・基準値から向上した指標は12項目中9項目（75%）、横ばいの指標は1項目
- ・特に順調に「主な取組」が推進できている。

【特に指標値が向上した「主な取組」】

- ・活力ある中心拠点の再構築
- ・緑・農地・水辺とふれあえる場づくり
- ・尾張旭まつりの開催
- ・デジタル化の推進

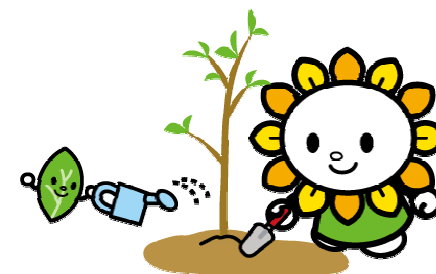
(2) 「自分らしく」を応援します

【指標値の動向】

- ・基準値から向上した指標は10項目中7項目（70%）、低下した指標は2項目
- ・順調に「主な取組」が推進できている。

【特に指標値が向上した「主な取組」】

- ・多文化共生社会の推進
- ・ボランティア・市民活動団体への支援
- ・障がい者の自立と社会参加の促進
- ・ジェンダー平等社会の推進



(3) 「子育てしやすいまち」の魅力を高めます

【指標値の動向】

- ・基準値から向上した指標は10項目中8項目（80%）、低下した指標は2項目
- ・特に順調に「主な取組」が推進できている。

【特に指標値が向上した「主な取組」】

- ・保育サービスの充実
- ・放課後の居場所づくり
- ・豊かな心と健やかな体の育成
- ・確かな学力の育成（小学校）

(4) 「人とのつながり」を大切にします

【指標値の動向】

- ・基準値から向上した指標は9項目中3項目（33%）、低下した指標は4項目
- ・順調に「主な取組」が推進できている指標もある一方、他の重点パッケージと比較すると課題がみられる。

【特に指標値が向上した「主な取組」】

- ・地域福祉活動の推進
- ・学校・家庭・地域の連携（小学校）
- ・地域商工業の活性化

※ 詳細は、重点パッケージごとのシートを参照してください。報告書内で実施している定量評価（対基準値）については、基準値と同値である場合を“横ばい”としています。

(1) 「暮らしやすさ」に「楽しさ」を加えます

重点的に実施する「主な取組」

●安全で安心な生活を送ることができる環境づくり

防災体制の充実（5-2-1）、省エネルギー化及び再生可能エネルギーの利用促進（6-1-1）

●暮らしの質の向上

健康づくり事業の充実（1-1-1）、デジタル化の推進（8-2-2）

●住みやすいまちとしての特徴の充実・継承

良好な市街地の形成（4-1-1）、緑・農地・水辺とふれあえる場づくり（4-3-2）

●楽しさを感じるまちづくり

芸術文化の振興（3-4-2）、スポーツの振興（3-4-3）、活力ある中心拠点の再構築（4-1-2）、尾張旭まつりの開催（7-3-1）、地域資源の創出・磨き上げ（7-3-2）

評価結果のまとめ

・資機材レンタル会社を中心とした防災協定の拡充により、各種資機材の確保が図られ、避難所環境の改善や物資運搬の効率化に寄与した。

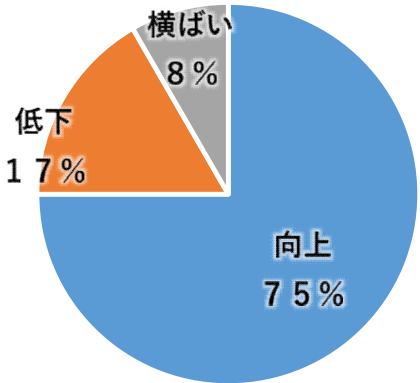
・市街地や狭あい道路等の計画的な整備を進めることで、安全で快適な生活環境の向上や改善に寄与した。また、矢田川自転車道の整備により、歩行者・自転車利用者が河川緑地を安全に利用できるようになった。

・電子申請の拡大により、市民が24時間申請可能な環境が整えられ、行政手続の利便性が向上した。

・芸術文化分野では魅力的な催事の開催により参加者が増加し、市民が芸術文化に触れる機会の充実につながった。

・各種まつりを開催し、多くの参加者によって市の活気と交流を支えた。スポーツイベントでは、参加者数は減少したものの、LINE配信により幅広い世代の参加があった。

対基準値比較



番号	主な取組	指標名	指標の種別	単位	基準値 (R5)	実績値 (R7)	目標値 (R15)	対基準値	令和7年度の取組内容／評価	担当課
5-2-1	防災体制の充実	各種団体との防災協定の累計締結数	上がると良い指標	件	95	111	115	向上	（取組内容）資機材レンタル会社を中心に積極的な働きかけを行い、新規で4件の災害時応援協定を締結した。 （取組評価）トイレカーやフォークリフト等の資機材を確保することで、避難所環境改善や物資運搬の効率化に貢献した。	危機管理課
6-1-1	省エネルギー化及び再生可能エネルギーの利用促進	省エネルギー設備導入補助事業などにより導入設置した累計設備数	上がると良い指標	台	1,300	1,770	2,100	向上	（取組内容）補助事業について、広報やホームページで周知するとともに、窓口で案内を配布した。 （取組評価）7月には補助事業の予算上限に達したことから、市民からの需要や環境配慮への意識が非常に高いことが伺える。本事業が市内における省エネルギー設備の導入推進に大きく貢献しており、有効性は高いと評価する。	環境課
4-1-1	良好な市街地の形成	市街地整備事業の完了面積	上がると良い指標	ha	628.7	637.4	658.8	向上	（取組内容） ・尾張旭北原山土地区画整理組合が実施する建物移転、道路築造などに対して、補助金等を交付した。 ・狭あい道路の解消に向け路線を整備した。 （取組評価）既成市街地での取組や土地区画整理事業の推進により市街地整備面積が増加した。これにより安全で快適なまちづくりが進んでおり、居住環境の向上・改善において高い有効性が認められる。	都市計画課
4-3-2	緑・農地・水辺とふれあえる場づくり	市民農園の区画数	上がると良い指標	区画	136	136	160	横ばい	（取組内容）尾張旭市ふれあい農園の管理運営に関する条例に基づき、募集、維持管理、使用料徴収を行った。また、物価高騰等の社会情勢を考慮し、令和8年度から適用する使用料の見直しを行った。 （取組評価）定員を超える申し込みがあり、農に触れ合う場としての需要は非常に高い。緑を身近に感じる住みやすいまちづくりの施策として効果的に機能しており、事業の有効性は高いと評価する。	公園農政課
4-3-2	緑・農地・水辺とふれあえる場づくり	矢田川自転車道の延べ整備延長	上がると良い指標	km	0.3	1.4	8.0	向上	（取組内容）右岸0.8kmの整備を行った。 （取組評価）整備を行ったことにより、歩行者及び自転車利用者が安全に矢田川河川緑地を利用できるようになった。	公園農政課
1-1-1	健康づくり事業の充実	あさひ健康マイスターの対象事業数	上がると良い指標	事業	270	265	300	低下	（取組内容）各課等の実施事業を確認し、対象となり得る事業について積極的に追加を依頼した。 （取組評価）令和7年度は、前年度に実施された「健康都市」や「あさぴー」の周年イベントがなかったため、対象事業数は前年度を下回る結果となった。しかし、各課等への働きかけにより一定数の対象事業は確保できていることから、楽しみながら取り組むことができる健康づくり事業の充実は図られている。	健康都市・スポーツ課
8-2-2	デジタル化の推進	電子申請を可能とする手続数	上がると良い指標	件	67	99	100	向上	（取組内容） ・窓口開庁時間の短縮に向けて、LoGoフォーム、マイナポータル（ぴったりサービス）の利用を庁内に呼び掛け、市ホームページのオンライン手続きポータルサイトへの掲載内容を調整した。 ・マイナポータル（ぴったりサービス）のキャッシュレス決済を令和6年度から引き続き利用した。 （取組評価）オンライン手続きの利用増加により、市民が24時間いつでも申請可能となるなど利便性が向上した。	情報政策課
3-4-2	芸術文化の振興	芸術文化イベント参加者数	上がると良い指標	人	12,015	15,538	13,200	向上	（取組内容）文化会館自主事業として「ふるさと大使」による催物など、市民に向けた郷土愛の育成、魅力的なイベントの開催に努めた。 （取組評価）魅力的な催物を多数開催したことで、来場者数及び芸術文化イベント全体の参加者数の大幅な増加に繋がった。今後も適切な企画運営を行い、地域の芸術文化活動のさらなる充実を図る。	生涯学習課
3-4-3	スポーツの振興	スポーツイベント参加者数	上がると良い指標	人	6,900	5,729	7,600	低下	（取組内容）市全体のスポーツ振興を図るため、ニュースポーツ体験会や学校ホリデースポーツフェスタ事業を実施した。 （取組評価）LINE配信を活用して広く周知を図ったことで、幅広い世代の市民が参加した。健康づくりや暮らしの中に楽しさを感じられる機会の提供につながった。	健康都市・スポーツ課
4-1-2	活力ある中心拠点の再構築	三郷駅前周辺整備事業の進捗率	上がると良い指標	%	0	11	100	向上	（取組内容）三郷駅前地区市街地再開発組合が実施する権利変換計画及び補償費等に対して補助金及び負担金を交付した。また、関連する三郷駅前まち育てプロジェクトの支援を実施した。 （取組評価）組合の事業進捗に合わせ補助金及び負担金を交付し、円滑な事業推進に寄与した。	都市整備課・三郷駅周辺整備推進室
7-3-1	尾張旭まつりの開催	尾張旭まつりへの来場者数	上がると良い指標	人	62,000	99,000	115,000	向上	（取組内容）市民や事業者等と連携し、尾張旭まつり（さくらまつり、あさひ夏フェスタ、市民祭、農業まつり）を実施した。 （取組評価）夏まつりの中止等により前年度との単純比較は難しいものの、各まつりの開催により多くの来場者が訪れた。誰もが安全安心に楽しく参加できるイベントとして、まちのにぎわい創出と交流促進に大きく寄与した。	産業課
7-3-2	地域資源の創出・磨き上げ	尾張旭まち案内への来場者数	上がると良い指標	人	9,181	10,253	13,000	向上	（取組内容）観光展やスポーツイベントでの自治体PRデーへの参加や百貨店等を含む催事販売により、お土産や旭色等の魅力商品やおいしい紅茶のまち日本一を積極的にPRした。 （取組評価）対面イベント等での積極的なPRにより、本市の特産品や魅力が広く発信できている。来場者数は微減したものの、地域資源の創出・磨き上げと知名度向上につながった。	産業課

(2) 「自分らしく」を応援します

重点的に実施する「主な取組」

●多様性を認め合う社会の形成

ジェンダー平等社会の推進（7-4-1）、多文化共生社会の推進（7-4-2）

●一人ひとりの個性や能力を発揮できる社会の形成

高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進（1-3-1）、障がい者の磁路地と社会参加の促進（1-4-2）、多様な教育ニーズへの対応（3-1-3）、公共交通による移動手段の確保（4-2-1）

●自分らしくいられる暮らし方・働き方の応援

生涯学習活動の推進（3-3-1）、ボランティア・市民活動団体への支援（5-1-2）、創業者への支援（7-1-3）

評価結果のまとめ

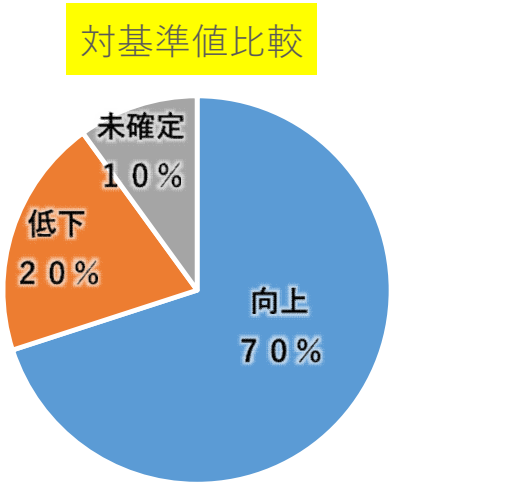
・ジェンダー平等では、展示やライトアップ、講座の開催を通じ、幅広い層の意識啓発につなげた。また多文化共生では、日本語教室を継続的に3講座実施したことで、参加者数が大幅に増加し、地域住民との人間関係の構築や国際交流の活発化に寄与した。

・小中学校では、地域を教材とした授業を実施し、児童生徒が地域や社会について主体的に学ぶ育成機会を設けた。障がい者雇用では精神障がい者の短時間トライアル雇用を提案する等、新たなアプローチを準備した。

・生涯学習では、幅広い講座を通じて学ぶ楽しみと地域とのつながりを生み出したが、参加者数は減少した。

・市民活動団体の支援では、曜日や時間を工夫することで交流機会を設け、市ホームページや広報等を活用し、参加を呼びかけ、団体間の情報交換の場として機能した。

・創業支援では、創業者数は減少したものの、先輩創業者との交流や継続的な案内が創業予定者の不安軽減に一定程度つながり、創業予定者への支援として機能した。



番号	主な取組	指標名	指標の種別	単位	基準値 (R5)	実績値 (R7)	目標値 (R15)	対基準値	令和7年度の取組内容／評価	担当課
7-4-1	ジェンダー平等社会の推進	ジェンダー平等に係る啓発件数	上がると良い指標	件	25	31	28	向上	（取組内容）第3次尾張旭市男女共同参画プランに基づき、多様性社会の実現のため、多種多様な啓発を実施した。 （取組評価）啓発実施予定であった防災訓練が中止となったものの、ロビー展示やライトアップ、各種講座等の開催などにより、前年度を上回る啓発を実施することで、幅広い層の意識啓発につなげることができた。	暮らし政策課
7-4-2	多文化共生社会の推進	日本語教室の参加者数	上がると良い指標	人	625	1,973	950	向上	（取組内容） ・本市で生活する外国人が地域住民と人間関係をつくれるよう、初期日本語教室の開催及び市民グループが運営する日本語教室への支援を行った。 ・市民と外国人の交流を支援し、国際交流の推進を図るため、尾張旭国際交流会に補助金を交付するなどの支援を行った。 （取組評価）教室が継続して3講座開設されており、参加者数も大幅に向上している。地域住民との人間関係の構築や国際交流が活発に行われており、多文化共生社会の推進において事業の有効性は高い。	暮らし政策課
1-3-1	高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進	生きがいを持っている高齢者の割合	上がると良い指標	%	78.1	—	85.0	—	（取組内容）高齢者の社会参加の促進や生きがいづくりに向けた現状を把握するため、高齢者保健福祉計画作成時にアンケートを実施した。 （取組評価）現在、アンケート結果から「生きがいを持っている高齢者の割合」等を集計・分析中である。この結果を的確に把握し、令和8年度以降の計画において、高齢者の外出機会創出や社会参加を促進するための施策へ反映させる。	長寿課
1-4-2	障がい者の自立と社会参加の促進	市内企業での障がい者の雇用率	上がると良い指標	%	1.61	2.07	2.70	向上	（取組内容）障がい者の経済的な自立を図るため、精神障がい者支援部会が中心となり、瀬戸ハローワーク等と連携して雇用促進に向けた取組を検討した。 （取組評価）これまでの啓発活動を見直し、精神障がい者の短時間のトライアル雇用を企業に提案するなど、新たなアプローチを準備することができた。	地域福祉課
3-1-3	多様な教育ニーズへの対応	地域や社会を良くするために何かしてみたいと考えている児童生徒の割合（小学校）	上がると良い指標	%	69.7	81.2	71.0	向上	（取組内容）「特色ある学校づくり」を推進し、地域を教材とした授業を展開するための支援を行った。 （取組評価）各校の特色を生かした取り組みを実施し、生徒が地域と関わる機会を設定したことが、地域や社会について主体的に学ぶ児童の育成につながった。	学校教育課
3-1-3	多様な教育ニーズへの対応	地域や社会を良くするために何かしてみたいと考えている児童生徒の割合（中学校）	上がると良い指標	%	59.3	72.4	62.0	向上	（取組内容）「特色ある学校づくり」を推進し、地域を教材とした授業を展開するための支援を行った。 （取組評価）各校の特色を生かした取り組みを実施し、児童が地域と関わる機会を設定したことが、地域や社会について主体的に学ぶ生徒の育成につながった。	学校教育課
4-2-1	公共交通による移動手段の確保	市内を運行するバス・鉄道の利用者数	上がると良い指標	千人	12,290	13,306	13,619	向上	（取組内容） ・本市交通の利便性等の向上に寄与する新たな交通手段を検討するため、デマンド交通実証実験を実施した。 ・利用促進に向け、各イベントでの周知活動、広報誌やホームページ等を活用した情報提供、ルートマップ等の配布を実施した。 （取組評価）デマンド交通実証実験の実施及び実施内容やアンケート調査の結果を取りまとめ、事業の有効性を検証するための情報整理を行ったことで、公共交通に係る利便性向上を推進した。	都市計画課
3-3-1	生涯学習活動の推進	生涯学習講座の参加者数	上がると良い指標	人	51,342	50,959	60,000	低下	（取組内容）生涯学習の推進に向けて、市、教育委員会、指定管理者が連携し、各種講座を実施した。 （取組評価）広範囲にわたる分野の講座を実施したことにより、多くの市民が参加し、学びを通じた楽しみや地域の人とのつながりの創出に寄与した。今後も市民が自分らしく生きがいを感じられる生涯学習の推進を図る。	生涯学習課
5-1-2	ボランティア・市民活動団体への支援	活動発表会及び交流会への参加団体数	上がると良い指標	団体	24	50	30	向上	（取組内容） ・多様な市民活動団体の活動が活発に行われるよう、連絡協議会役員が中心となり、曜日や時間を工夫しながら交流の機会（年4回）を企画・開催した。 ・ホームページ掲示、広報掲載、公式LINE配信、公共施設への掲示及び団体への案内送付・送信により参加者を募集した。 （取組評価）登録団体の協力を得て開催した交流会（クリスマスパーティー等）には約100名が参加し、団体間のネットワーク構築や情報交換の場として大いに機能した。交流の機会を設けることで、市民活動全体の活性化につながっている。	市民活動課
7-1-3	創業者への支援	創業支援を受けた創業者の数	上がると良い指標	人	36	27	38	低下	（取組内容）特定創業支援等事業として全5回の創業セミナー、その後のフォローアップセミナーを実施した。また、市及び連携支援事業者（市商工会、瀬戸信用金庫、日本政策金融公庫）に相談窓口を設置した。 （取組評価）長期的なプランで創業を検討する相談が多く、実際の創業件数は基準値を下回った。しかし、先輩創業者との交流や過去の受講者に対する継続的な案内により、創業者特有の不安解消に繋がっており、創業予定者への支援として機能している。	産業課

③ 「子育てしやすいまち」の魅力を高めます

重点的に実施する「主な取組」

●安心してこどもを産める環境づくり

母子保健の充実（1-1-4）、子育て不安の解消（2-2-1）、妊婦・子育て家庭への支援（2-2-2）、少子化対策への対応（2-3-4）

●働きながら子育てできる環境づくり

保育サービスの充実（2-1-1）、放課後の居場所づくり（2-3-1）

●子育てしやすい環境づくり

公園などによるうおいのある空間づくりと活用（4-1-3）

●こどもの可能性を拡げる機会づくり

豊かな心と健やかな体の育成（3-1-1）、確かな学力の育成（3-1-2）

評価結果のまとめ

・妊娠 8 か月頃の全員アンケートに加え、初産・多胎などのハイリスク妊婦等への電話・面談により、支援ニーズのある妊婦に対応することができた。また、出産や子育ての情報提供を行い、産後の支援へつなげることができた。

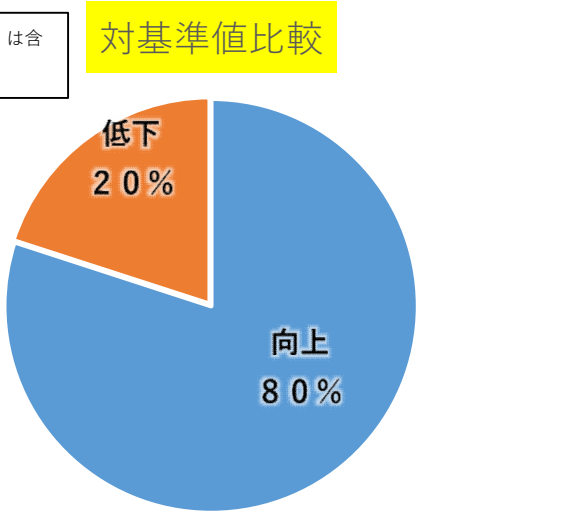
・子育て家庭支援では、父母が一緒に参加できる講座や仲間づくりの場を提供し、悩みの共有と軽減を図った。また、ファミリーサポートセンター会員や託児ボランティアの増員を図るなど、地域全体の支援体制を強化した。

・就労と子育ての両立では、小規模保育所の開設により待機児童が減り、一時預かりが多様な就労形態に対応する支援として機能し、保護者の就労と児童・保護者双方の福祉を支える役割を担っている。

・民間学童クラブの新設により受け皿が拡大したが、宅地開発や預かりニーズの増加が定員増を上回り、一部の校区で児童クラブ待機児童が発生した。

・公園整備では、大久手西・大久手東公園の改良に向けて地域住民とのワークショップを実施し、遊具更新等のリニューアル内容を検討した。また、他の公園でも遊具の更新や修繕を行い、安全・安心で快適に利用できる空間の形成に努めた。

※指標の種別「その他」は含めていません。



番号	主な取組	指標名	指標の種別	単位	基準値 (R5)	実績値 (R7)	目標値 (R15)	対基準値	令和7年度の取組内容／評価	担当課
1-1-4	母子保健の充実	妊娠後期の妊娠相談対応率	その他 (推移を見守る指標)	%	—	100	100	—	(取組内容) ・妊娠8か月頃に全員対象のアンケートを実施。相談を希望する方へ電話や面談等で相談対応した。 ・妊娠後期電話相談を実施し、初産婦、多胎妊婦、ハイリスク妊婦等へ電話相談を実施した。 (取組評価) 不安を抱える妊婦に寄り添い、相談対応や出産・子育てに関する情報提供を行うことで、産後の支援につなげることができた。引き続き、妊婦が安心して子どもを産み育てられる環境の整備に努める。	こども家庭課
2-2-1	子育て不安の解消	子育て支援センターなどの利用者数	その他 (推移を見守る指標)	人	21,148	32,341	21,000	—	(取組内容) ・子育てに関する考え方の共有や悩みの軽減を図るため、父母が一緒に参加できる講座を実施した。 ・ファミリーサポートセンター会員や託児ボランティアの増員を図るため、合同ボランティア登録・研修会を実施した。 (取組評価) 講座の開催や仲間づくりの場の提供により、子育ての悩みの軽減につながった。また、合同ボランティア登録・研修会の開催により、登録者数が増加しており、地域全体で子育てを支える体制が強化されている。	こども家庭課
2-2-2	妊婦・子育て家庭への支援	伴走型支援を実施した保護者数	その他 (推移を見守る指標)	人	1,523	1,448	—	—	(取組内容) 妊娠期から出産・子育てまでを継続的に支援するため、面談やアンケート、情報発信等を実施した。 (取組評価) 妊娠届出数や出生数が増加する中、個別の面談と全体に向けた情報発信を一体的に実施したことで、多様なニーズに即した伴走型支援を提供することができた。	こども家庭課
2-3-4	少子化対策への対応	計画に基づいて実施した取組の割合	その他 (推移を見守る指標)	%	100	99.1	100	—	(取組内容) こども計画に基づき、各事業を実施した。 (取組評価) 計画初年度であったが、全事業について着手できた。ただし、一部未着手となった項目があった。	こども未来課
2-1-1	保育サービスの充実	待機児童数	下がると良い指標	人	8	5	0	向上	(取組内容) 小規模保育所の開設(4月)や、次年度に向けた定員弾力化による受入れ枠の調整を行い、多様な支援ニーズに対応した。 (取組評価) 小規模保育所の開設により待機児童数を減らすことができた。令和8年度の認可保育所2箇所の開設に向けた準備を適切に進めることができた。	保育課
2-1-1	保育サービスの充実	一時預かり利用者数	上がると良い指標	人	577	680	600	向上	(取組内容) 一時保育事業を継続的にを行い、保護者の就労等を支援し、児童及び保護者の福祉の向上を図った。 (取組評価) 就労形態が多様化する中、保護者の保育ニーズに適応した支援を行うことにより利用者の増加につながった。	保育課
2-3-1	放課後の居場所づくり	児童クラブなどを利用している児童数	上がると良い指標	人	1,161	1,289	1,300	向上	(取組内容) 公立児童クラブの運営と民間学童クラブへの委託等により、児童の放課後の居場所づくりを推進した。また、民間学童1クラブが新規開設した。 (取組評価) 民間学童クラブの新規開設により受け皿は増加したが、宅地開発の影響や預かりニーズの増加等が要因となり、申込者数も増加したため、旭、三郷、旭丘校区で待機児童が生じている。	こども未来課
4-1-3	公園などによるうおいのある空間づくりと活用	公園などの面積	上がると良い指標	ha	443.4	446.6	445.0	向上	(取組内容) 大久手西、大久手東公園の改良に向けた地域住民とのワークショップを実施し、遊具の更新等リニューアルに向けた内容の検討を行った。その他の公園についても安全安心で魅力のある公園とするため、遊具の更新や修繕を行った。 (取組評価) 地域住民の意向を反映した整備と適切な管理により、安全・安心で快適に利用できる公園空間の形成に寄与した。	公園農政課
3-1-1	豊かな心と健やかな体の育成	学校へ行くのが楽しいと感じる児童生徒の割合(小学校)	上がると良い指標	%	82.4	86.7	85.0	向上	(取組内容) 学校へ行くことが楽しいと感じる児童の割合を向上させるために、道徳教育、人権教育、多様性理解やいじめ・不登校対策などに取り組み、児童が安心して生活する場所を設定した。 (取組評価) 令和6年4月からの教育支援センター設置により、不登校相談や教育支援体制を強化することができている。引き続き、児童が安心して学校生活を送れる環境づくりと、効果的な不登校対策を推進していく。	学校教育課

(3) 「子育てしやすいまち」の魅力を高めます

重点的に実施する「主な取組」

●安心してこどもを産める環境づくり

母子保健の充実（1-1-4）、子育て不安の解消（2-2-1）、妊婦・子育て家庭への支援（2-2-2）、少子化対策への対応（2-3-4）

●働きながら子育てできる環境づくり

保育サービスの充実（2-1-1）、放課後の居場所づくり（2-3-1）

●子育てしやすい環境づくり

公園などによるうるおいのある空間づくりと活用（4-1-3）

●こどもの可能性を拡げる機会づくり

豊かな心と健やかな体の育成（3-1-1）、確かな学力の育成（3-1-2）

評価結果のまとめ

・妊娠 8 か月頃の全員アンケートに加え、初産・多胎などのハイリスク妊婦等への電話・面談により、支援ニーズのある妊婦に対応することができた。また、出産や子育ての情報提供を行い、産後の支援へつなげることができた。

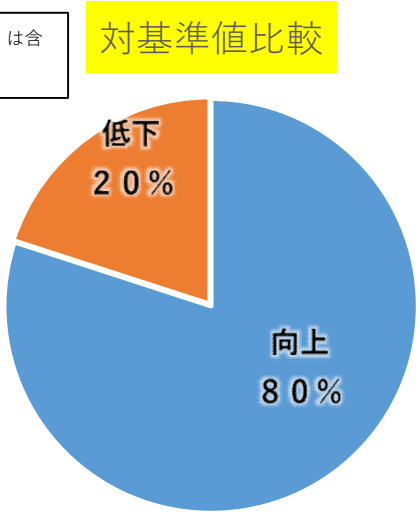
・子育て家庭支援では、父母と一緒に参加できる講座や仲間づくりの場を提供し、悩みの共有と軽減を図った。また、ファミリーサポートセンター会員や託児ボランティアの増員を図るなど、地域全体の支援体制を強化した。

・就労と子育ての両立では、小規模保育所の開設により待機児童が減り、一時預かりが多様な就労形態に対応する支援として機能し、保護者の就労と児童・保護者双方の福祉を支える役割を担っている。

・民間学童クラブの新設により受け皿が拡大したが、宅地開発や預かりニーズの増加が定員増を上回り、一部の校区で児童クラブ待機児童が発生した。

・公園整備では、大久手西・大久手東公園の改良に向けて地域住民とのワークショップを実施し、遊具更新等のリニューアル内容を検討した。また、他の公園でも遊具の更新や修繕を行い、安全・安心で快適に利用できる空間の形成に努めた。

※指標の種別「その他」は含めていません。



番号	主な取組	指標名	指標の種別	単位	基準値 (R5)	実績値 (R7)	目標値 (R15)	対基準値	令和7年度の取組内容／評価	担当課
3-1-1	豊かな心と健やかな体の育成	学校へ行くのが楽しいと感じる児童生徒の割合(中学校)	上がると良い指標	%	85.9	85.2	87.0	低下	(取組内容)学校へ行くことが楽しいと感じる生徒の割合を向上させるために、道徳教育、人権教育、多様性理解やいじめ・不登校対策に取り組み、生徒が安心して生活する場所を設定した。 (取組評価)数値は微減したものの、令和7年度には全中学校への校内教育支援センターの設置が完了した。今後はこの体制を最大限に活用し、きめ細かな不登校相談を実施することで、効果的ないじめ・不登校対策と生徒の安心感向上につなげていく。	学校教育課
3-1-2	確かな学力の育成	授業の内容がよく分かると感じる児童生徒の割合(小学校)国語	上がると良い指標	%	78.5	79.9	80.0	向上	(取組内容)校内現職研修を充実させ、各校で教員の授業力向上のための研修を行った。 (取組評価)研修を通じたICT機器の効果的な活用等により教員の授業力が向上し、児童の主体的・対話的で深い学びの実現と、確かな学力の向上につながっている。	学校教育課
3-1-2	確かな学力の育成	授業の内容がよく分かると感じる児童生徒の割合(小学校)算数	上がると良い指標	%	72.3	76.0	80.0	向上	(取組内容)校内現職研修を充実させ、各校で教員の授業力向上のための研修を行った。 (取組評価)研修を通じたICT機器の効果的な活用等により教員の授業力が向上し、児童の主体的・対話的で深い学びの実現と、確かな学力の向上につながっている。	学校教育課
3-1-2	確かな学力の育成	授業の内容がよく分かると感じる児童生徒の割合(中学校)国語	上がると良い指標	%	76.3	77.7	80.0	向上	(取組内容)校内現職研修を充実させ、各校で教員の授業力向上のための研修を行った。 (取組評価)研修を通じたICT機器の効果的な活用等により教員の授業力が向上し、生徒の主体的・対話的で深い学びの実現と、確かな学力の向上につながっている。	学校教育課
3-1-2	確かな学力の育成	授業の内容がよく分かると感じる児童生徒の割合(中学校)数学	上がると良い指標	%	76.6	65.5	80.0	低下	(取組内容)校内現職研修を充実させ、各校で、教員の授業力向上のための研修を行った。 (取組評価)ICT機器活用を含む研修を行ったが、生徒の学力等に係る数値の明確な上昇には至らなかった。今後は、生徒の主体的・対話的で深い学びと確かな学力育成に直結するよう、研修内容を見直す必要がある。	学校教育課

(4) 「人とのつながり」を大切にします

重点的に実施する「主な取組」

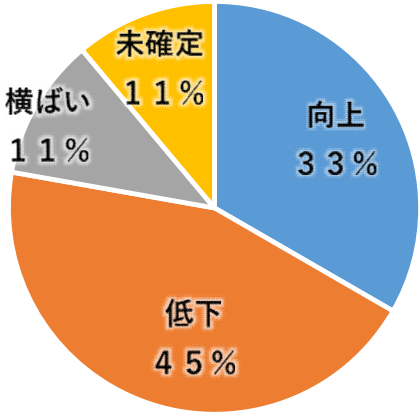
- まちに対する愛着や誇りの形成
市民協働による健康づくりの推進（1-1-5）、文化財の保護・保存及び次世代への継承（3-4-1）、愛着と誇りの醸成（8-1-2）
- 大切な人とのきずなの強化
地域包括ケアシステムの推進（1-3-5）、地域福祉活動の推進（1-5-2）、重層的支援体制の整備（1-5-3）、学校・家庭・地域の連携（3-2-1）
- 市民・事業者と地域とのかかわりの強化
地域コミュニティ活動の活性化支援（5-1-1）、地域商工業の活性化（7-1-1）

評価結果のまとめ

- ・地域福祉活動の推進では、広報誌を通じてボランティア養成講座への参加を積極的に呼びかけ、関心の高いボランティア活動に多くの市民参加を得た。
- ・無形民俗文化財保存会では、体験会の開催やチラシの配布により、活動人数を維持しているが、後継者の育成が課題となっている。
- ・自治会・町内会は加入促進用のチラシや子ども向けの絵本を作成するなどにより新規加入を促進したが、ライフスタイルの変化等により加入世帯数が減少しており、時代に即した活動内容の見直しや役員負担が課題となっている。
- ・地域包括ケアは、在宅生活の支援や介護サービス提供をしているが、介護者の高齢化などで在宅介護の割合が低下している。
- ・小学校は学校運営協議会を通じて課題を共有し、地域住民がボランティアや伝統文化の講師を担った。また、地域イベントに多くの子どもが参加するなど、学校と地域の連携につながった。

※指標の種別「その他」は含めていません。

対基準値比較



番号	主な取組	指標名	指標の種別	単位	基準値 (R5)	実績値 (R7)	目標値 (R15)	対基準値	令和7年度の取組内容／評価	担当課
1-1-5	市民協働による健康づくりの推進	健康づくり推進委員会及び食育ラボの会員数	上がると良い指標	人	51	46	65	低下	（取組内容）市民団体との協働による健康づくりの普及活動を推進するため、尾張旭市食育ラボの養成講座や健康づくり推進委員会20周年記念大会を通じたPRを行った。また、より多くの方が参加できるよう入会条件を緩和した。 （取組評価）新たな受講者等の参加はあったものの、高齢化や病気等により全体の活動人数は減少傾向にある。今後は市民がさらに参加しやすい仕組みづくりを進め、市民団体との協働による普及活動を維持・推進していく必要がある。	健康課
3-4-1	文化財の保護・保存及び次世代への継承	無形民俗文化財保存会員数	上がると良い指標	人	1,045	1,041	1,150	低下	（取組内容）市文化財の保護・継承と郷土の歴史の伝承を図るため、各保存会への委託料支出による支援や、会員募集に向けた体験会、チラシ作成等を実施した。 （取組評価）積極的な広報・体験会の実施により、保存会の活動人数を維持することができた。今後は後継者育成の支援をさらに強化し、無形民俗文化財の継承を通じた市民の郷土愛の醸成を継続して進める。	生涯学習課
8-1-2	愛着と誇りの醸成	本市に愛着を感じている市民の割合	上がると良い指標	%	81.3	—	85.0	—	（取組内容）人口問題対策本部において全庁的な視点で次年度の取組をまとめた。 （取組評価）各課に照会を行い、人口問題の解決に資する幅広い取組の実施・検討ができた。今後はこれらの施策を着実に実行し、人口誘導を推進する。	企画課
1-3-5	地域包括ケアシステムの推進	要介護認定を受けている人のうち、在宅で生活している人の割合	上がると良い指標	%	91.0	89.6	93.0	低下	（取組内容）高齢者保健福祉計画に基づき、在宅生活継続のための支援や各種介護サービスを実施した。 （取組評価）後期高齢者の増加や介護者の高齢化を背景に、在宅介護の割合が低下している。この現状を踏まえ、今後は医療・介護・生活支援がより一体的に提供される体制の推進をさらに強化していく必要がある。	長寿課
1-5-2	地域福祉活動の推進	ボランティア養成者数	上がると良い指標	人	154	185	170	向上	（取組内容）広報誌を通じてボランティア養成講座への参加を積極的に呼びかけた。 （取組評価）子ども食堂や点字教室、ボランティアスキルアップ講座などの関心度が高く、多くの参加が得られた。受講者が実際の活動団体等へ参加する契機となっており、地域社会を担う人材の育成と地域福祉活動の活性化において高い有効性が認められる。	地域福祉課
1-5-3	重層的支援体制の整備	多世代交流型サロンなどの設置数	上がると良い指標	か所	0	0	3	横ばい	（取組内容）重層的支援体制整備事業の実施に向けて、関係部署に対しての説明や情報共有会を開催した。 （取組評価）庁内での連携強化が図られ、包括的相談支援事業などを一体的に実施するための準備が着実に進捗している。	地域福祉課
3-2-1	学校・家庭・地域の連携	地域や保護者との相互理解が深まったと思う学校の割合（小学校）	上がると良い指標	%	66.7	77.7	100	向上	（取組内容）市内各小学校に学校運営協議会を設置し、「地域とともにある学校づくり」を推進した。 （取組評価）学校運営協議会を通じて、学校と地域の困り事を互いに共有した。地域の方々に学校ボランティアや伝統文化の講師を担っていただき、地域イベントにより多くの子供たちが参加するなど、学校と地域の連携による一定の成果が見られた。	学校教育課
3-2-1	学校・家庭・地域の連携	地域や保護者との相互理解が深まったと思う学校の割合（中学校）	上がると良い指標	%	66.7	33.3	100	低下	（取組内容）市内各中学校に学校運営協議会を設置し、「地域とともにある学校づくり」を推進した。 （取組評価）学校運営協議会を通じて、学校と地域の課題共有は図られているものの、小学校に比べ中学校では具体的な取組が少なく、連携に手詰まり感が見られる。今後は、中学生の段階に合わせた地域の方々の知識・技能・経験をいかした新たな連携手法を検討していく必要がある。	学校教育課
5-1-1	地域コミュニティ活動の活性化支援	自治会・町内会加入世帯数	その他 （推移を見守る指標）	世帯	21,129	19,958	21,129	—	（取組内容） ・自治会町内会加入促進のためのチラシとグッズを配布した。 ・活動の様子を市のホームページなどで知らせた。 ・こども向けの町内会に関する絵本と動画を作成・配布し、活動を知らせた。 （取組評価）多様な媒体を通じた啓発が新規加入の確保に一定の効果を上げた。一方で、ライフスタイルの変化等による退会者の増加が課題となっているため、今後は時代に合った活動内容への見直しや役員の負担軽減策など、活動継続に向けた市の支援をさらに模索していく。	市民活動課
7-1-1	地域商工業の活性化	地域経済循環率	上がると良い指標	%	63.2	68.4	67.0	向上	（取組内容）地域の企業の中小企業やスタートアップを支援するため、省エネ設備への更新等における補助金の拡充や創業セミナーを実施した。 （取組評価）実績値（令和4年調査）には直近の取組結果は反映されていないが、地域経済循環率の向上には、物価高騰等に直面する市内事業者への支援や事業者同士の取引促進が必要不可欠であり、引き続き地域経済の活性化を図っていく必要がある。	産業課
7-1-1	地域商工業の活性化	製造品出荷額	その他 （推移を見守る指標）	百万円	157,735	185,085	—	—	（取組内容）数値取得年度（令和6年度）は、物価高騰対策として省エネ設備投資促進補助金を実施し、製造業等のエネルギーコスト等の固定費削減を支援した。 （取組評価）長期化するエネルギーコストの増加に対し、市が早期に固定費削減支援の対応をとったことが、事業者の負担軽減と経営力の向上に大きく寄与している。	産業課

3. 基本目標のまとめ

全体の指標値の動向は、「主な取組」の指標全体（90）における対基準値の結果は、向上が61項目（67.8％）、低下が21項目（23.3％）、横ばいが5項目（5.6％）、数値未確定が3項目（3.3％）でした。なお、基本目標ごとの確認結果は次のとおりです。

	向上		低下		横ばい		未確定		計
基本目標1 健康でいきいきと暮らすまち	10	(52.6%)	6	(31.6%)	1	(5.3%)	2	(10.5%)	19
基本目標2 こどもがすくすく成長するまち	3	(100%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	3
基本目標3 豊かな心と知性を育むまち	13	(59.1%)	9	(40.9%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	22
基本目標4 質の高い暮らしを支えるまち	12	(80.0%)	0	(0.0%)	3	(20.0%)	0	(0.0%)	15
基本目標5 人とふれあい安心して暮らすまち	6	(66.7%)	3	(33.3%)	0	(0%)	0	(0.0%)	9
基本目標6 環境にやさしい生活を送るまち	6	(75.0%)	2	(25.0%)	0	(0%)	0	(0.0%)	8
基本目標7 笑顔と活力があふれるまち	6	(75.0%)	1	(12.5%)	1	(12.5%)	0	(0.0%)	8
基本目標8 未来につながる行政経営	5	(83.3%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(16.7%)	6

- ※ 指標値の合計数には、なりゆき値として推移を見守る指標は含まれていません。
- ※ 定量評価（対基準値）については、基準値と同値である場合を“横ばい”としています。
- ※ 割合は、小数点第二位を切り捨て・切り上げ処理をしています。そのため、割合の合計が100％ではないものもあります。
- ※ 詳細は、基本目標ごとのシートを参照してください。



基本目標1 健康でいきいきと暮らすまち（保健・医療・福祉）

番号	主な取組名称	重点P	指標名	指標の種別	単位	基準値 (R5)	実績値 (R7)	目標値 (R15)	対基準値	令和7年度の取組内容／評価	担当課
1-1-1	健康づくり事業の充実	重1	あさひ健康マイスターの対象事業数	上がると良い指標	事業	270	265	300	低下	(取組内容)各課等の実施事業を確認し、対象となり得る事業について積極的に追加を依頼した。 (取組評価)令和7年度は、前年度に実施された「健康都市」や「あさびー」の周年イベントがなかったため、対象事業数は前年度を下回る結果となった。しかし、各課等への働きかけにより一定数の対象事業は確保できていることから、楽しみながら取り組むことができる健康づくり事業の充実は図られている。	健康都市・スポーツ課
1-1-2	健康相談・保健指導の充実		健康相談対応率	その他	%	100	100	100	－	(取組内容)窓口、電話、訪問等により、5,314件の健康相談や保健指導に対応した。 (取組評価)乳幼児から高齢者まですべての世代の健康相談に対応し、必要に応じて関係機関へ繋ぐ支援を実施した。	健康課
1-1-3	早期発見・予防の推進		乳幼児健診受診率	上がると良い指標	%	98.8	99.2	100	向上	(取組内容)疾病の早期発見・予防を推進するため、個人通知(乳児は実施1か月前、幼児は1か月前)による事前案内や未受診者に対する訪問・電話等による受診勧奨を行った。 (取組評価)受診勧奨を実施することで、受診率の向上につながっているが、児の疾患等で集団健診の受診が難しい場合が一定数ある。また、親の就労や児の体調不良等で未受診となる場合もあり、別日の案内を行うなどし、できるだけ受診につながる働きかけを続けていくことが必要である。	こども家庭課
1-1-3	早期発見・予防の推進		がん検診要精密検査受診率	上がると良い指標	%	89.0	89.9	95.0	向上	(取組内容) ・一次医療機関へ、対象者への精密検査の必要性の説明及び受診勧奨を依頼した。 ・精密検査未受診者へ、受診勧奨及び受診しない理由を確認するアンケートを送付した。 (取組評価)検診を受けた医療機関の医師から直接説明を受けることで、精密検査の必要性を理解し、受診につながった。今後はアンケート結果から未受診の要因を分析し、より効果的な受診勧奨を行うことで、疾病の早期発見・予防をさらに推進する。	健康課
1-1-4	母子保健の充実	重3	妊娠後期の妊娠相談対応率	その他	%	—	100	100	－	(取組内容) ・妊娠8か月頃に全員対象のアンケートを実施。相談を希望する方へ電話や面談等で相談対応した。 ・妊娠後期電話相談を実施し、初産婦、多胎妊婦、ハイリスク妊婦等へ電話相談を実施した。 (取組評価)不安を抱える妊婦に寄り添い、相談対応や出産・子育てに関する情報提供を行うことで、産後の支援につなげることができた。引き続き、妊婦が安心して子どもを産み育てられる環境の整備に努める。	こども家庭課
1-1-5	市民協働による健康づくりの推進	重4	健康づくり推進員会及び食育ラボの会員数	上がると良い指標	人	51	46	65	低下	(取組内容)市民団体との協働による健康づくりの普及活動を推進するため、尾張旭市食育ラボの養成講座や健康づくり推進員会20周年記念大会を通じたPRを行った。また、より多くの方が参加できるよう入会条件を緩和した。 (取組評価)新たな受講者等の参加はあったものの、高齢化や病気等により全体の活動人数は減少傾向にある。今後は市民がさらに参加しやすい仕組みづくりを進め、市民団体との協働による普及活動を維持・推進していく必要がある。	健康課
1-2-1	日常医療体制の確保		瀬戸旭休日急病診療所を利用した市民数	その他	人	2,534	2,137	—	－	(取組内容)市民が安心して医療を受けられるよう、診療所の運営経費を負担金として拠出し、休日の急病診療体制を確保した。(負担割合は、尾張旭市39.3%、瀬戸市60.7%) (取組評価)市民が疾病などの救急時に、安心して適正な医療が受けられる体制を維持することができた。	健康課
1-2-2	高度医療体制の確保		公立陶生病院を利用した市民数	その他	人	87,753	88,178	—	－	(取組内容)病院運営に係る経費を負担し、市民の健康保持や高度医療提供を図った。(負担割合は、尾張旭市21.4%、瀬戸市73.7%、長久手市4.9%) (取組評価)陶生病院(第3次救急医療施設)の運営費の一部を負担することで、病院機能の維持向上を図り、市民が常時高度な医療を受けることができた。	健康課
1-2-3	福祉医療費の助成		福祉医療費助成によって、安心して医療が受けられる人の割合	上がると良い指標	%	96.3	96.4	100.0	向上	(取組内容)福祉医療費助成制度について、広報やホームページで幅広く周知するとともに、市民サービス向上を目的として年次更新対象者1,050名にアンケートを実施した。 (取組評価)アンケート結果に基づき、オンライン申請の拡充やマイナ保険証活用マニュアルの周知を行った。これにより、医療を必要とする方がよりスムーズに制度を利用でき、安心して医療を受けられる環境整備につながった。	保険医療課
1-2-4	国民健康保険の健全な運営		特定健康診査受診率	上がると良い指標	%	45.5	44.6	56.0	低下	(取組内容)特定健康診査の未受診者に対し、事業者による受診勧奨を行った。 (取組評価)目標値に達していないため、実施方法をさらに工夫していく必要がある。	保険医療課
1-2-4	国民健康保険の健全な運営		後期高齢者医療健康診査受診率	上がると良い指標	%	43.2	42.5	51.1	低下	(取組内容)事業者による受診勧奨(7/31発送5,841件)に加え、未受診者へハガキによる再勧奨(9/17発送2,983件)を実施した。 (取組評価)被保険者の健康管理のきっかけとなるよう未受診者へハガキによる再勧奨を実施し、受診者数は増加した。	保険医療課
1-3-1	高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進	重2	生きがいを持っている高齢者の割合	上がると良い指標	%	78.1	—	85.0	－	(取組内容)高齢者の社会参加の促進や生きがいづくりに向けた現状を把握するため、高齢者保健福祉計画作成時にアンケートを実施した。 (取組評価)現在、アンケート結果から「生きがいを持っている高齢者の割合」等を集計・分析中である。この結果を的確に把握し、令和8年度以降の計画において、高齢者の外出機会創出や社会参加を促進するための施策へ反映させる。	長寿課
1-3-2	介護予防の推進		介護予防教室参加者の改善割合	上がると良い指標	%	85.2	92.9	88.0	向上	(取組内容)少人数の参加者に対し、手厚くスタッフを配置しきめ細かにリハビリや生活指導を行った。 (取組評価)参加者の多くで体力測定結果の改善や主観的健康観の向上が見られた。手厚い支援体制が体力・生活習慣の向上につながっており、要介護状態の悪化防止の取り組みが行えている。	長寿課

基本目標1 健康でいきいきと暮らすまち（保健・医療・福祉）

番号	主な取組名称	重点P	指標名	指標の種別	単位	基準値 (R5)	実績値 (R7)	目標値 (R15)	対基準値	令和7年度の取組内容／評価	担当課
1-3-3	高齢者福祉の担い手育成		認知症サポーターの累計養成者数	上がると良い指標	人	10,113	11,724	18,000	向上	（取組内容）認知症サポーター養成講座を全8回開催した。 （取組評価）多数の受講者（延べ11,724人）を獲得し、指標値の向上に繋がった。認知症への理解が広がることで、元気な高齢者を含む地域住民同士の支え合いや、新たな支援の担い手づくりに寄与している。	長寿課
1-3-3	高齢者福祉の担い手育成		あさひ生活応援サポーターの累計登録者数	上がると良い指標	人	96	120	200	向上	（取組内容）あさひ生活応援サポーター養成講座事業計画に基づき、養成講座を2回実施した。 （取組評価）修了者8名が生活応援サポーターへの登録を行ったことから、担い手獲得の一定の効果はあった。一方で受講者の確保に課題が残るため、今後はより効果的なPRを行い、元気な高齢者をはじめとした支援の担い手づくりをさらに強化していく必要がある。	長寿課
1-3-4	高齢者福祉・介護サービスの充実		受けている介護サービスに満足している利用者の割合	上がると良い指標	%	97.2	—	99.0	—	（取組内容）高齢者福祉・介護サービスの充実や基盤整備の現状を把握するため、高齢者保健福祉計画作成時のアンケートを実施した。 （取組評価）現在、介護サービス利用者の満足度等を集計中である。この結果を的確に分析し、令和8年度以降の計画において、必要なサービスが安定的に提供され、在宅福祉や介護基盤が充実する施策へと反映させる。	長寿課
1-3-5	地域包括ケアシステムの推進	重4	要介護認定を受けている人のうち、在宅で生活している人の割合	上がると良い指標	%	91.0	89.6	93.0	低下	（取組内容）高齢者保健福祉計画に基づき、在宅生活継続のための支援や各種介護サービスを実施した。 （取組評価）後期高齢者の増加や介護者の高齢化を背景に、在宅介護の割合が低下している。この現状を踏まえ、今後は医療・介護・生活支援がより一体的に提供される体制の推進をさらに強化していく必要がある。	長寿課
1-4-1	障がい者差別の解消、虐待の防止及び権利擁護の推進		障がい者の虐待件数	下がると良い指標	人	2	8	0	低下	（取組内容） ・尾張東部権利擁護センターとの連携や高齢者及び障がい者虐待防止ネットワーク連絡会への参加により関係者間の連携強化、協力体制の構築を図った。 ・市内障害福祉サービス事業所には虐待防止委員会・身体拘束適正化委員会の設置が義務付けられているため、委員向けの研修を実施した。 （取組評価）研修会には市内の事業所から36名が参加し、虐待防止委員会・身体拘束適正化委員会が適切に機能するよう各事業所職員が認識を深めることができた。	地域福祉課
1-4-2	障がい者の自立と社会参加の促進	重2	市内企業での障がい者の雇用率	上がると良い指標	%	1.61	2.07	2.70	向上	（取組内容）障がい者の経済的な自立を図るため、精神障がい者支援部会が中心となり、瀬戸ハローワーク等と連携して雇用促進に向けた取組を検討した。 （取組評価）これまでの啓発活動を見直し、精神障がい者の短時間のトライアル雇用を企業に提案するなど、新たなアプローチを準備することができた。	地域福祉課
1-4-3	障害福祉サービス事業所における人材育成の支援		支援による専門研修の受講者数	上がると良い指標	人	0	58	10	向上	（取組内容） ・障害福祉事業所向けに、市主催で虐待防止及び新制度（就労選択支援）に関する研修を実施した。 ・障害福祉サービス等従事者研修費助成事業を創設し、令和8年度から実施する体制を整えた。 （取組評価）助成事業の創設により、専門研修への参加を後押しする準備が整った。今後も事業所への継続的な支援を通じて、より専門性の高い支援者の育成と適切なサービス提供体制の維持に努める。	地域福祉課
1-4-4	障がい者に対する包括的な支援体制の構築		障がい者への支援体制整備に関する関係機関との会議開催回数	その他	回	26	28	26	—	（取組内容）5つの専門部会で連携会議を行い、その結果を持ち寄る運営会議、全体会議を含め28回の会議を開催した。 （取組評価）多業種による情報共有や課題の発見が行われ、関係機関が連携した支援体制の構築が着実に進んでいる。	地域福祉課
1-5-1	セーフティネットの充実		生活困窮相談者の中でプランを作成した者の自立達成割合	上がると良い指標	%	0.58	1.9	5.80	向上	（取組内容）継続的な相談支援が必要な方に、同意の上プランを作成し、生活困窮者と支援者が目標を共有して自立を目指した。 （取組評価）プラン達成率等が低下した要因として、情報確認に留まる相談の増加や、課題が複合的で支援途中で諦めるケースが見られた。今後は生活困窮者の早期把握に努めるとともに、複雑な課題を抱える相談者に対しても粘り強く寄り添い、セーフティネット機能の充実を図る必要がある。	地域福祉課
1-5-2	地域福祉活動の推進	重4	ボランティア養成者数	上がると良い指標	人	154	185	170	向上	（取組内容）広報誌を通じてボランティア養成講座への参加を積極的に呼びかけた。 （取組評価）子ども食堂や点字教室、ボランティアスキルアップ講座などの関心度が高く、多くの参加が得られた。受講者が実際の活動団体等へ参加する契機となっており、地域社会を担う人材の育成と地域福祉活動の活性化において高い有効性が認められる。	地域福祉課
1-5-3	重層的支援体制の整備	重4	多世代交流型サロンなどの設置数	上がると良い指標	か所	0	0	3	横ばい	（取組内容）重層的支援体制整備事業の実施に向けて、関係部署に対しての説明や情報共有会を開催した。 （取組評価）庁内での連携強化が図られ、包括的相談支援事業などを一体的に実施するための準備が着実に進捗している。	地域福祉課

基本目標2 こどもがすくすく成長するまち(こども・子育て)

番号	主な取組名称	重点P	指標名	指標の種別	単位	基準値 (R5)	実績値 (R7)	目標値 (R15)	対基準値	令和7年度の取組内容／評価	担当課
2-1-1	保育サービスの充実	重3	待機児童数	下がるとう良い指標	人	8	5	0	向上	(取組内容)小規模保育所の開設(4月)や、次年度に向けた定員弾力化による受入れ枠の調整を行い、多様な支援ニーズに対応した。 (取組評価)小規模保育所の開設により待機児童数を減らすことができた。令和8年度の認可保育所2箇所の開設に向けた準備を適切に進めることができた。	保育課
2-1-1	保育サービスの充実	重3	一時預かり利用者数	上がるとう良い指標	人	577	680	600	向上	(取組内容)一時保育事業を継続的に行い、保護者の就労等を支援し、児童及び保護者の福祉の向上を図った。 (取組評価)就労形態が多様化する中、保護者の保育ニーズに適応した支援を行うことにより利用者の増加につながった。	保育課
2-1-2	幼稚園・民間保育施設への支援		民間施設を利用している児童数	その他	人	1,092	1,082	—	—	(取組内容)幼稚園及び認可外保育施設に通う本市児童が必要なサービスを受けられるよう国・県の補助金を活用し、民間施設の支援を行った。 (取組評価)幼稚園等に適切な支援を行い、安定した施設運営の支援に寄与することができた。	保育課
2-2-1	子育て不安の解消	重3	子育て支援センターなどの利用者数	その他	人	21,148	32,341	21,000	—	(取組内容) ・子育てに関する考え方の共有や悩みの軽減を図るため、父母が一緒に参加できる講座を実施した。 ・ファミリーサポートセンター会員や託児ボランティアの増員を図るため、合同ボランティア登録・研修会を実施した。 (取組評価)講座の開催や仲間づくりの場の提供により、子育ての悩みの軽減につながった。また、合同ボランティア登録・研修会の開催により、登録者数が増加しており、地域全体で子育てを支える体制が強化されている。	こども家庭課
2-2-2	妊婦・子育て家庭への支援	重3	伴走型支援を実施した保護者数	その他	人	1,523	1,448	—	—	(取組内容)妊娠期から出産・子育てまでを継続的に支援するため、面談やアンケート、情報発信等を実施した。 (取組評価)妊娠届出数や出生数が増加する中、個別の面談と全体に向けた情報発信を一体的に実施したことで、多様なニーズに即した伴走型支援を提供することができた。	こども家庭課
2-2-3	発達が気になるこどもへの支援		こどもの発達相談の相談対応率	その他	%	100	100	100	—	(取組内容) ・相談窓口では、保護者の不安や疑問に対し、丁寧かつ迅速に対応する仕組みが確立されていた。 ・関係機関との連携や情報共有が日常的に行われており、相談内容に応じた多職種による支援を実施した。 (取組評価)「発達相談の入り口」として、幅広い相談に適切に対応し、必要に応じて専門機関や支援サービスにつなぐことができた。	こども家庭課
2-3-1	放課後の居場所づくり	重3	児童クラブなどを利用している児童数	上がるとう良い指標	人	1,161	1,289	1,300	向上	(取組内容)公立児童クラブの運営と民間学童クラブへの委託等により、児童の放課後の居場所づくりを推進した。また、民間学童1クラブが新規開設した。 (取組評価)民間学童クラブの新規開設により受け皿は増加したが、宅地開発の影響や預かりニーズの増加等が要因となり、申込者数も増加したため、旭、三郷、旭丘校区で待機児童が生じている。	こども未来課
2-3-2	子育て世帯への経済的支援		児童手当の受給者数	その他	人	6,247	7,013	—	—	(取組内容)子育て世帯の経済的な負担を軽減するため、法令に基づき、対象者へ適正に児童手当の給付を実施した。 (取組評価)令和6年10月の大幅な制度改正に的確に対応し、受給者数が増加した。これにより、より多くの子育て世帯に対する経済的支援の充実と負担軽減を図ることができた。	こども未来課
2-3-2	子育て世帯への経済的支援		児童扶養手当の受給者数	その他	人	426	369	—	—	(取組内容)ひとり親家庭の必要な経済的援助や自立を促すため、児童扶養手当を支給した。 (取組評価)所得制限限度額が制度改正により拡大されたが、手当の対象から外れるひとり親家庭が増加し、前年度から引き続き受給者数は減少しているが、支援が必要なひとり親家庭に対して適切に手当が支給できている。	こども未来課
2-3-3	こどもの人権擁護		こどもの一時保護・施設入所件数	その他	件	29	29	—	—	(取組内容)要保護児童対策地域連携会議の関係機関等と連携して、要保護児童等の早期発見・早期対応を行った。また、ヤングケアラー支援における関係機関との連携体制の要となるヤングケアラーコーディネーターを設置した。 (取組評価)関係機関等と連携した対応を行うことで、こどもの安全を守るための適切な支援や児童虐待の未然防止に寄与した。また、ヤングケアラーコーディネーターの設置によりヤングケアラー支援体制の強化が図られた。	こども家庭課
2-3-4	少子化対策への対応	重3	計画に基づいて実施した取組の割合	その他	%	100	99.1	100	—	(取組内容)こども計画に基づき、各事業を実施した。 (取組評価)計画初年度であったが、全事業について着手できた。ただし、一部未着手となった項目があった。	こども未来課

基本目標3 豊かな心と知性を育むまち(教育・生涯学習)

番号	主な取組名称	重点P	指標名	指標の種別	単位	基準値 (R5)	実績値 (R7)	目標値 (R15)	対基準値	令和7年度の取組内容／評価	担当課
3-1-1	豊かな心と健やかな体の育成	重3	学校へ行くのが楽しいと感じる児童生徒の割合(小学校)	上がると良い指標	%	82.4	86.7	85.0	向上	(取組内容)学校へ行くことが楽しいと感じる児童の割合を向上させるために、道徳教育、人権教育、多様性理解やいじめ・不登校対策などに取り組み、児童が安心して生活する場所を設定した。 (取組評価)令和6年4月からの教育支援センター設置により、不登校相談や教育支援体制を強化することができている。引き続き、児童が安心して学校生活を送れる環境づくりと、効果的な不登校対策を推進していく。	学校教育課
3-1-1	豊かな心と健やかな体の育成	重3	学校へ行くのが楽しいと感じる児童生徒の割合(中学校)	上がると良い指標	%	85.9	85.2	87.0	低下	(取組内容)学校へ行くことが楽しいと感じる生徒の割合を向上させるために、道徳教育、人権教育、多様性理解やいじめ・不登校対策に取り組み、生徒が安心して生活する場所を設定した。 (取組評価)数値は微減したものの、令和7年度には全中学校への校内教育支援センターの設置が完了した。今後はこの体制を最大限に活用し、きめ細かな不登校相談を実施することで、効果的ないじめ・不登校対策と生徒の安心感向上につなげていく。	学校教育課
3-1-2	確かな学力の育成	重3	授業の内容がよく分かると感じる児童生徒の割合(小学校)国語	上がると良い指標	%	78.5	79.9	80.0	向上	(取組内容)校内現職研修を充実させ、各校で教員の授業力向上のための研修を行った。 (取組評価)研修を通じたICT機器の効果的な活用等により教員の授業力が向上し、児童の主体的・対話的で深い学びの実現と、確かな学力の向上につながっている。	学校教育課
3-1-2	確かな学力の育成	重3	授業の内容がよく分かると感じる児童生徒の割合(小学校)算数	上がると良い指標	%	72.3	76	80.0	向上	(取組内容)校内現職研修を充実させ、各校で教員の授業力向上のための研修を行った。 (取組評価)研修を通じたICT機器の効果的な活用等により教員の授業力が向上し、児童の主体的・対話的で深い学びの実現と、確かな学力の向上につながっている。	学校教育課
3-1-2	確かな学力の育成	重3	授業の内容がよく分かると感じる児童生徒の割合(中学校)国語	上がると良い指標	%	76.3	77.7	80.0	向上	(取組内容)校内現職研修を充実させ、各校で教員の授業力向上のための研修を行った。 (取組評価)研修を通じたICT機器の効果的な活用等により教員の授業力が向上し、生徒の主体的・対話的で深い学びの実現と、確かな学力の向上につながっている。	学校教育課
3-1-2	確かな学力の育成	重3	授業の内容がよく分かると感じる児童生徒の割合(中学校)数学	上がると良い指標	%	76.6	65.5	80.0	低下	(取組内容)校内現職研修を充実させ、各校で、教員の授業力向上のための研修を行った。 (取組評価)ICT機器活用を含む研修を行ったが、生徒の学力等に係る数値の明確な上昇には至らなかった。今後は、生徒の主体的・対話的で深い学びと確かな学力育成に直結するよう、研修内容を見直す必要がある。	学校教育課
3-1-3	多様な教育ニーズへの対応	重2	地域や社会を良くするために何かしてみたいと考えている児童生徒の割合(小学校)	上がると良い指標	%	69.7	81.2	71.0	向上	(取組内容)「特色ある学校づくり」を推進し、地域を教材とした授業を展開するための支援を行った。 (取組評価)各校の特色を生かした取り組みを実施し、生徒が地域と関わる機会を設定したことが、地域や社会について主体的に学ぶ児童の育成につながった。	学校教育課
3-1-3	多様な教育ニーズへの対応	重2	地域や社会を良くするために何かしてみたいと考えている児童生徒の割合(中学校)	上がると良い指標	%	59.3	72.4	62.0	向上	(取組内容)「特色ある学校づくり」を推進し、地域を教材とした授業を展開するための支援を行った。 (取組評価)各校の特色を生かした取り組みを実施し、児童が地域と関わる機会を設定したことが、地域や社会について主体的に学ぶ生徒の育成につながった。	学校教育課
3-1-4	学校における指導体制の充実		ICT機器の活用について、十分サポートを受けられていると思う割合(小学校)	上がると良い指標	%	100	88.9	100	低下	(取組内容)教員が授業に注力できる環境づくりとICT環境の充実を図るため、ICT支援員によるサポートを依頼するとともに、市独自でICT教育支援教員を配置した。 (取組評価)各学校への巡回を実施しているが、現状は一般教員が相談しやすい日数・訪問時間帯とミスマッチが生じている。今後は巡回スケジュールの調整を行い、教員が授業へ注力できる環境づくりを図る。	学校教育課
3-1-4	学校における指導体制の充実		ICT機器の活用について、十分サポートを受けられていると思う割合(中学校)	上がると良い指標	%	100	66.7	100	低下	(取組内容)教員が授業に注力できる環境づくりとICT環境の充実を図るため、ICT支援員によるサポートを依頼するとともに、市独自でICT教育支援教員を配置した。 (取組評価)各学校への巡回を実施しているが、現状は一般教員が相談しやすい日数・訪問時間帯とミスマッチが生じている。今後は巡回スケジュールの調整を行い、教員が授業へ注力できる環境づくりを図る。	学校教育課
3-1-5	安全安心で質の高い学校施設の整備		施設維持管理上の不具合による教育支障件数	その他	件	0	0	0	－	(取組内容) ・快適な教育環境の実現へ向けて、中学校体育館等空調工事を実施した。 ・大規模改造工事未実施校における長寿命化改良工事等を含め、今後10年間に実施する工事等の計画を策定した。 (取組評価)夏季における熱中症対策が整うとともに、災害時における避難所としての防災機能強化を図るため、中学校体育館等空調工事により体育館や柔剣道場に空調設備を設置したことで、快適な教育環境の提供に寄与した。	教育政策課
3-2-1	学校・家庭・地域の連携	重4	地域や保護者との相互理解が深まったと思う学校の割合(小学校)	上がると良い指標	%	66.7	77.7	100	向上	(取組内容)市内各小学校に学校運営協議会を設置し、「地域とともにある学校づくり」を推進した。 (取組評価)学校運営協議会を通じて、学校と地域の困り事を互いに共有した。地域の方々に学校ボランティアや伝統文化の講師を担っていただき、地域イベントにより多くの子供たちが参加するなど、学校と地域の連携による一定の成果が見られた。	学校教育課

基本目標3 豊かな心と知性を育むまち(教育・生涯学習)

番号	主な取組名称	重点P	指標名	指標の種別	単位	基準値 (R5)	実績値 (R7)	目標値 (R15)	対基準値	令和7年度の取組内容／評価	担当課
3-2-1	学校・家庭・地域の連携	重4	地域や保護者との相互理解が深まったと思う学校の割合(中学校)	上がるの良い指標	%	66.7	33.3	100	低下	(取組内容)市内各中学校に学校運営協議会を設置し、「地域とともにある学校づくり」を推進した。 (取組評価)学校運営協議会を通じて、学校と地域の課題共有は図られているものの、小学校に比べ中学校では具体的な取組が少なく、連携に手詰まり感が見られる。今後は、中学生の段階に合わせた地域の方々の知識・技能・経験をいかした新たな連携手法を検討していく必要がある。	学校教育課
3-2-2	家庭教育力の向上支援		家庭教育に関する講座の参加者数	上がるの良い指標	人	973	1,865	1,100	向上	(取組内容)全校区を対象とした家庭教育学級(合同学級)を4回実施した。 (取組評価)文化会館ホールを利用し、当日受付も可能としたことで参加者の増加につながった。これにより、多くの保護者に対して発達段階に応じた適切な教育の支援や、家庭教育を見つめ直す機会を提供することができた。	生涯学習課
3-2-3	多様な教育機関との連携		大学と連携した講座などの開催回数	上がるの良い指標	回	17	19	20	向上	(取組内容)生涯学習・公開講座の企画運営、特別支援教育やいじめ対策等において、主に大学等と連携した取組を実施した。 (取組評価)高等学校や大学などの多様な教育機関との連携により、専門知識をいかしたこともたちの支援、市のイベントやボランティアへの参加、講座・研修などの企画運営の充実を図ることができた。	学校教育課
3-2-4	就学の支援		就学支援希望への対応率	その他	%	100	100	100	－	(取組内容)就学に係る保護者の経済的な負担を軽減するため、支援を必要とする児童生徒の保護者からの就学援助申請を受理し、適正な支給を行った。 (取組評価)就学援助を適切に支給したことで、支援を必要とする保護者の経済的な負担が軽減され、こどもたちが安心して就学できる適切な支援を実施することができた。	学校教育課
3-3-1	生涯学習活動の推進	重2	生涯学習講座の参加者数	上がるの良い指標	人	51,342	50,959	60,000	低下	(取組内容)生涯学習の推進に向けて、市、教育委員会、指定管理者が連携し、各種講座を実施した。 (取組評価)広範囲にわたる分野の講座を実施したことにより、多くの市民が参加し、学びを通じた楽しみや地域の人とのつながりの創出に寄与した。今後も市民が自分らしく生きがいを感じられる生涯学習の推進を図る。	生涯学習課
3-3-2	生涯学習施設の環境整備と利用促進		公民館の利用者数	上がるの良い指標	人	257,254	270,960	300,000	向上	(取組内容)中央公民館及び地区公民館7館において、1階トイレの改修工事を行った。 (取組評価)各公民館のトイレ改修により、利用者の安全で快適な衛生環境の向上が図られた。引き続き、誰もが安心して利用できる施設環境の計画的な整備を推進する。	生涯学習課
3-3-2	生涯学習施設の環境整備と利用促進		図書館の来館者数	上がるの良い指標	人	180,000	212,517	200,000	向上	(取組内容)各種イベントの開催や、本を探しやすくするための配架の工夫等を行った。 (取組評価)定期的なイベントにより、図書館を身近に感じてもらうことができ、来館者数の増加につながった。	図書館
3-3-3	図書館サービスの充実		市民一人当たりの図書の個人貸出点数	上がるの良い指標	点	6.9	6.8	7.0	低下	(取組内容)リクエスト資料の受付や地区公民館等への資料取次サービスなどを実施した。 (取組評価)利用者の希望に応じた資料購入や地区公民館での受け渡しを行うことで、読書や学びの機会が身近なものに拡大し、地域の情報拠点としての役割を果たすことができた。	図書館
3-4-1	文化財の保護・保存及び次世代への継承	重4	無形民俗文化財保存会員数	上がるの良い指標	人	1,045	1,041	1,150	低下	(取組内容)市文化財の保護・継承と郷土の歴史の伝承を図るため、各保存会への委託料支出による支援や、会員募集に向けた体験会、チラシ作成等を実施した。 (取組評価)積極的な広報・体験会の実施により、保存会の活動人数を維持することができた。今後は後継者育成の支援をさらに強化し、無形民俗文化財の継承を通じた市民の郷土愛の醸成を継続して進める。	生涯学習課
3-4-2	芸術文化の振興	重1	芸術文化イベント参加者数	上がるの良い指標	人	12,015	15,538	13,200	向上	(取組内容)文化会館自主事業として「ふるさと大使」による催物など、市民に向けた郷土愛の育成、魅力的なイベントの開催に努めた。 (取組評価)魅力的な催物を多数開催したことで、来場者数及び芸術文化イベント全体の参加者数の大幅な増加に繋がった。今後も適切な企画運営を行い、地域の芸術文化活動のさらなる充実を図る。	生涯学習課
3-4-3	スポーツの振興	重1	スポーツイベント参加者数	上がるの良い指標	人	6,900	5,729	7,600	低下	(取組内容)市全体のスポーツ振興を図るため、ニュースポーツ体験会や学校ホリデースポーツフェスタ事業を実施した。 (取組評価)LINE配信を活用して広く周知を図ったことで、幅広い世代の市民が参加した。健康づくりや暮らしの中に楽しさを感じられる機会の提供につながった。	健康都市・スポーツ課
3-4-4	スポーツ活動の環境整備と利用促進		スポーツ施設の利用者数	上がるの良い指標	人	551,000	563,837	551,000	向上	(取組内容)城山テニスコートの照明設備の改修を実施した。また、寄附者により市民プールのリニューアル工事が行われた。 (取組評価)不具合が生じていた城山テニスコートの照明設備も改修を行い、快適な環境整備を図った。また、市民プールの工事期間中は施設が稼働せず利用者数が減少したものの、改修完了により、今後はより多くの市民が快適にスポーツを楽しめる環境が整った。	健康都市・スポーツ課

基本目標4 質の高い暮らしを支えるまち(都市基盤)

番号	主な取組名称	重点P	指標名	指標の種別	単位	基準値 (R5)	実績値 (R7)	目標値 (R15)	対基準値	令和7年度の取組内容／評価	担当課
4-1-1	良好な市街地の形成	重1	市街地整備事業の完了面積	上がると良い指標	ha	628.7	637.4	658.8	向上	(取組内容) ・尾張旭北原山土地区画整理組合が実施する建物移転、道路築造などに対して、補助金等を交付した。 ・狭あい道路の解消に向け路線を整備した。 (取組評価)既成市街地での取組や土地区画整理事業の推進により市街地整備面積が増加した。これにより安全で快適なまちづくりが進んでおり、居住環境の向上・改善において高い有効性が認められる。	都市計画課
4-1-2	活力ある中心拠点の再構築	重1	三郷駅前周辺整備事業の進捗率	上がると良い指標	%	0	11	100	向上	(取組内容)三郷駅前地区市街地再開発組合が実施する権利変換計画及び補償費等に対して補助金及び負担金を交付した。また、関連する三郷駅前まち育てプロジェクトの支援を実施した。 (取組評価)組合の事業進捗に合わせ補助金及び負担金を交付し、円滑な事業推進に寄与した。	都市整備課・三郷駅前周辺整備推進室
4-1-3	公園などによるうるおいのある空間づくりと活用	重3	公園などの面積	上がると良い指標	ha	443.4	446.6	445.0	向上	(取組内容)大久手西、大久手東公園の改良に向けた地域住民とのワークショップを実施し、遊具の更新等リニューアルに向けた内容の検討を行った。その他の公園についても安全安心で魅力のある公園とするため、遊具の更新や修繕を行った (取組評価)地域住民の意向を反映した整備と適切な管理により、安全・安心で快適に利用できる公園空間の形成に寄与した。	公園農政課
4-1-4	災害に強い都市基盤づくり		橋りょう点検の実施率	その他	%	100	100	100	－	(取組内容)橋梁長寿命化計画に基づき、令和7年度の橋梁点検を実施した。 (取組評価)計画的な点検と状態把握を確実に実施したことで、橋梁の適切な維持管理ができています。今後も老朽化対策を推進し、安全・安心で災害に強い都市基盤の確保に努める。	土木管理課
4-2-1	公共交通による移動手段の確保	重2	市内を運行するバス・鉄道の利用者数	上がると良い指標	千人	12,290	13,306	13,619	向上	(取組内容) ・本市交通の利便性等の向上に寄与する新たな交通手段を検討するため、デマンド交通実証実験を実施した。 ・利用促進に向け、各イベントでの周知活動、広報誌やホームページ等を活用した情報提供、ルートマップ等の配布を実施した。 (取組評価)デマンド交通実証実験の実施及び実施内容やアンケート調査の結果を取りまとめ、事業の有効性を検証するための情報整理を行ったことで、公共交通に係る利便性向上を推進した。	都市計画課
4-2-2	駅・駅周辺施設における交通結節点の整備		駅前広場の整備率	上がると良い指標	%	75.0	75	100	横ばい	(取組内容)三郷駅前広場の整備を含む三郷駅前地区市街地再開発組合に負担金を交付した。 (取組評価)三郷駅前広場の整備を含む三郷駅前地区第一種市街地再開発事業が進捗中であり、実績値の変動はないが、事業は着実に進んでいる。引き続き、関係者との調整を図りながら事業に取り組み整備完了を目指す。	都市計画課
4-2-3	交通基盤を支える道路環境の整備		幹線道路の年間補修延長	上がると良い指標	m	400	685	600	向上	(取組内容)幹線道路補修計画に基づき、補修工事を実施した。 (取組評価)計画に基づく補修工事を着実に実施したことで、幹線道路の安全性が保たれ、適切な維持管理ができています。引き続き、市民が安全・安心に通行できる道路環境の整備を進める。	土木管理課
4-3-1	緑・農地・水辺の保全		緑地面積	その他	ha	623.9	618.8	620.0	－	(取組内容)農振農用地区域の除外申出に対して、法令等に基づき厳格な審査を行った。 (取組評価)やむを得ない転用により緑地面積自体は減少したものの、厳格な審査を行うことで無秩序な開発を抑制している。引き続き適正な運用に努め、貴重な緑・農地の保全に取り組む。	公園農政課
4-3-2	緑・農地・水辺とふれあえる場づくり	重1	市民農園の区画数	上がると良い指標	区画	136	136	160	横ばい	(取組内容)尾張旭市ふれあい農園の管理運営に関する条例に基づき、募集、維持管理、使用料徴収を行った。また、物価高騰等の社会情勢を考慮し、令和8年度から適用する使用料の見直しを行った。 (取組評価)定員を超える申し込みがあり、農に触れ合う場としての需要は非常に高い。緑を身近に感じる住みやすいまちづくりの施策として効果的に機能しており、事業の有効性は高いと評価する。	公園農政課
4-3-2	緑・農地・水辺とふれあえる場づくり	重1	矢田川自転車道の延べ整備延長	上がると良い指標	km	0.3	1.4	8.0	向上	(取組内容)右岸0.8kmの整備を行った。 (取組評価)整備を行ったことにより、歩行者及び自転車利用者が安全に矢田川河川緑地を利用できるようになった。	公園農政課
4-3-3	都市型農業の推進		地産地消を心掛けている人の割合	上がると良い指標	%	69.3	83	75.0	向上	(取組内容)食育実行プランに基づき、学校給食で地産地消の食育等を行った。 (取組評価)地産地消を取り入れた食育を行ったことで、児童生徒等の認知度が徐々に向上している。地域の農産物への関心が高まることは、将来的な地産地消の推進や地元農業の活性化につながるため有効である。	公園農政課

基本目標4 質の高い暮らしを支えるまち(都市基盤)

番号	主な取組名称	重点P	指標名	指標の種別	単位	基準値 (R5)	実績値 (R7)	目標値 (R15)	対基準値	令和7年度の取組内容／評価	担当課
4-3-3	都市型農業の推進		学校給食への地元農産物供給量	上がると良い指標	t	10.3	10.3	15.0	横ばい	(取組内容)学校給食において地元農産物を積極的に活用する食育を実施した。 (取組評価)学校給食を通じて地産地消の意識を浸透させるとともに、地元農産物の安定的な需要を創出することで、地元農業の活性化に寄与することができた。	公園農政課
4-3-4	全国植樹祭の理念継承		開催理念を継承する事業数	上がると良い指標	事業	21	22	25	向上	(取組内容)全国植樹祭6周年イベントの開催や樹木伐倒加工業務などの理念継承事業を実施した。 (取組評価)イベントの開催等を通じて、全国植樹祭の理念の継承を行うことができた。	公園農政課
4-4-1	水道管の耐震化の促進		幹線水道管の耐震化率	上がると良い指標	%	37.5	40.6	82.3	向上	(取組内容)幹線水道管耐震化基本計画に基づき、耐震化工事を実施した。 (取組評価)令和5・6年度は旭ヶ丘配水場の耐震化を優先したため、管路の耐震化率は計画値を下回ったが、水道システム全体の強靱化は進んでいる。今後は、計画に基づき管路の耐震化や更新を着実に進める。	上水道課
4-4-2	污水管の整備及び水洗化の普及促進		下水道普及率	上がると良い指標	%	86.8	91.1	98.3	向上	(取組内容)公共下水道を利用できる地区を増やすため、計画的な下水道面整備を実施し、供用開始区域を拡大した。 (取組評価)面整備を着実に進めた結果、より多くの市民が下水道を利用できるようになった。今後も生活環境の向上に向け、計画的な污水管の整備を進める。	下水道課
4-4-2	污水管の整備及び水洗化の普及促進		下水道水洗化率	上がると良い指標	%	90	91	98.3	向上	(取組内容)水洗化の普及促進を図るため、供用開始後3年以上経過した未接続宅を対象に個別訪問を実施し、下水道への切り替えを実施した。 (取組評価)丁寧な個別訪問を実施したことで接続への理解が得られ、下水道水洗化率の向上につながった。	下水道課
4-4-3	良好な污水处理の推進		下水処理施設利用率	上がると良い指標	%	67.3	70	87.3	向上	(取組内容)良好な污水处理を継続するため、下水処理施設及び污水管の運転管理・維持管理を適切に実施した。 (取組評価)下水道接続世帯の増加に伴い、流入水量及び施設利用率が上昇しているが、適切な維持管理により問題なく処理を行えている。今後も安定した污水处理体制を維持する。	浄化センター
4-4-4	持続可能な上下水道事業の推進		総収支比率(上水道)	その他	%	120.7	112.5	100以上	－	(取組内容)上下水道事業の健全な経営を維持するため、県営水道の値上げや物価高騰による維持管理費用の増加に対応した水道料金の改定を行った。 (R8.4施行) (取組評価)収支バランスが保たれ、健全な経営基盤の維持ができている。	経営政策課
4-4-4	持続可能な上下水道事業の推進		総収支比率(下水道)	その他	%	98.7	100.7	100以上	－	(取組内容)一般会計からの基準外繰入金に頼らない、自立的で健全な事業運営を行うため、使用料の改定を行った(R8.4施行)。 (取組評価)総収支比率は目標を上回ったが、経費回収率は83.3%であり、污水处理費用を使用料で賄えていない状況である。引き続き、効率的な施設運用や経費削減に努め、より健全で自立的な経営を目指す。	経営政策課

基本目標5 人とふれあい安心して暮らすまち(安全安心・市民生活)

番号	主な取組名称	重点P	指標名	指標の種別	単位	基準値 (R5)	実績値 (R7)	目標値 (R15)	対基準値	令和7年度の取組内容／評価	担当課
5-1-1	地域コミュニティ活動の活性化支援	重4	自治会・町内会加入世帯数	その他	世帯	21,129	19,958	21,129	－	(取組内容) ・自治会町内会加入促進のためのチラシとグッズを配布した。 ・活動の様子を市のホームページなどで知らせた。 ・子ども向けの町内会に関する絵本と動画を作成・配布し、活動を知らせた。 (取組評価)多様な媒体を通じた啓発が新規加入の確保に一定の効果を上げた。一方で、ライフスタイルの変化等による退会者の増加が課題となっているため、今後は時代に合った活動内容への見直しや役員の負担軽減策など、活動継続に向けた市の支援をさらに模索していく。	市民活動課
5-1-2	ボランティア・市民活動団体への支援	重2	活動発表会及び交流会への参加団体数	上がると良い指標	団体	24	50	30	向上	(取組内容) ・多様な市民活動団体の活動が活発に行われるよう、連絡協議会役員が中心となり、曜日や時間を工夫しながら交流の機会(年4回)を企画・開催した。 ・ホームページ掲示、広報掲載、公式LINE配信、公共施設への掲示及び団体への案内送付・送信により参加者を募集した。 (取組評価)登録団体の協力を得て開催した交流会(クリスマスパーティー等)には約100名が参加し、団体間のネットワーク構築や情報交換の場として大いに機能した。交流の機会を設けることで、市民活動全体の活性化につながっている。	市民活動課
5-1-3	コミュニティ施設の運営・管理と利用促進		コミュニティ施設の利用者数	上がると良い指標	人	471,249	527,107	520,000	向上	(取組内容) ・幅広い年齢層を対象に、カルチャー、スポーツ、料理といった様々なイベント等を実施した。 ・インスタグラム等のSNSを活用し、施設やイベントの周知を図った。 (取組評価)魅力ある教室やイベント等を開催するとともに、様々な媒体を活用した情報発信により利用者が増加した。各施設の適切な運営・管理が利用促進につながっており、事業の有効性は高い。	暮らし政策課
5-2-1	防災体制の充実	重1	各種団体との防災協定の累計締結数	上がると良い指標	件	95	111	115	向上	(取組内容)資機材レンタル会社を中心に積極的な働きかけを行い、新規で4件の災害時応援協定を締結した。 (取組評価)トイレカーやフォークリフト等の資機材を確保することで、避難所環境改善や物資運搬の効率化に貢献した。	危機管理課
5-2-2	災害情報システムの充実		防災アプリの累計登録者数	上がると良い指標	人	3,400	6,277	10,000	向上	(取組内容)各種イベントや出前講座において、チラシの配布と併せて、新規に作成した啓発用アクリルスタンド(QRコード付き)を用いることで、PRと同時に登録を依頼した。 (取組評価)様々な機会に啓発することで、認知度が上がり、登録者数の増加に繋がっている。非常時の情報伝達ツールとして有効であるため、引き続き登録者数を増やす取組を進めていく。	危機管理課
5-2-3	避難生活環境の整備		想定避難者数に応じた食糧・飲料水(3日分)の備蓄率	その他	%	100	100	100	－	(取組内容)賞味期限の迫った備蓄品の計画的な買い替えを実施することで、適正な備蓄品の管理を行った。 (取組評価)常に基準値を満たす備蓄量を確保しており、災害時の避難者受入れに向けた体制が維持できている。引き続き、適正な管理を実施する。	危機管理課
5-2-4	防災・減災意識の向上		市や自主防災組織が開催する防災に関する活動の参加者数	上がると良い指標	人	3,100	2,193	3,400	低下	(取組内容)平時における防災啓発や総合防災訓練、防災講演会の開催、出前講座の実施など、市民の防災意識向上に向けた取組みを行った。 (取組評価)出前講座等により市民の防災意識向上は図られたが、悪天候による訓練中止の影響で全体の参加者数は低下した。今後は天候に左右されない啓発手法や情報発信も強化し、平時からの防災・減災意識の向上をさらに推進する。	危機管理課
5-3-1	火災予防体制の充実		出火率(人口1万人当たりの出火件数)	その他	件	1.8	1.7	—	－	(取組内容)火災の発生を未然に防止するため、店舗や工場への立入検査を行うとともに、市民への啓発活動や広報を実施した。 (取組評価)年間の出火件数は概ね横ばいの状況である。火災の未然防止には市民一人ひとりの意識が不可欠であるため、引き続き防火思想の普及啓発を継続的に進めていく必要がある。	予防課
5-3-2	消防・救急体制の強化		通報を受け、消防車が放水を開始するまでの時間	下がると良い指標	分	11.4	10.8	10.0	向上	(取組内容) ・出動前の効率的な情報共有や迅速な放水開始のため火災活動訓練を定期的に実施した。 ・指令地図への消防関連情報の入力により情報共有体制の拡充を図った。 (取組評価)上記取組を行うことで、通報から放水開始までの時間短縮が図られた。偶発的な発生場所による到着時間のばらつき等の課題はあるものの、引き続き初動対応体制の強化を行っていく。	消防署
5-3-2	消防・救急体制の強化		通報を受け、救急車が傷病者を病院に収容するまでの時間	下がると良い指標	分	34.2	32.3	33.0	向上	(取組内容) ・近隣消防本部との連携活動訓練を実施した。 ・救急活動における各セクション(覚知から指令等)の時間短縮に向けての意識付け及び取組を強化し実施した。 (取組評価)連携訓練や意識付けにより、救急隊の現場活動時間の短縮が図られた。発生場所に起因する到着時間の隔たりについては課題として残るが、引き続き、近隣自治体との連携強化と救急活動の迅速化に努める。	消防署
5-3-3	消防組織体制の強化		消防関係団体による訓練などの参加者数	その他	人	750	847	—	－	(取組内容)訓練実施計画を都度作成し、訓練実施計画に基づき、訓練を実施した。 (取組評価)訓練を通じて関係団体との連携強化は図られたものの、雨天により参加人数が減少する課題が生じた。今後は雨天時でも実施可能な訓練プログラム等を考慮する必要がある。	消防総務課

基本目標5 人とふれあい安心して暮らすまち(安全安心・市民生活)

番号	主な取組名称	重点P	指標名	指標の種類	単位	基準値 (R5)	実績値 (R7)	目標値 (R15)	対基準値	令和7年度の取組内容／評価	担当課
5-4-1	交通安全対策の推進		人口千人当たりの交通事故発生件数	下がると良い指標	件	25.6	26.7	24	低下	(取組内容)対象に合わせた交通安全啓発活動を引き続き実施するとともに、市民祭や健康フェスタなどのイベントに参加し啓発を行った。 (取組評価)季節や時間帯、年齢など、各世代の対象者に合わせたきめ細かな活動を行ったことで、市民の交通安全意識の向上に一定の効果があり、交通事故が起きにくい環境づくりに寄与した。	市民活動課
5-4-2	防犯対策の推進		人口千人当たりの犯罪発生件数	下がると良い指標	件	4.1	5.2	4.0	低下	(取組内容)市民祭や出前講座において、各世代に合わせた防犯啓発活動を実施した。 (取組評価)全体の犯罪発生件数は前年と同数に抑えられ、啓発の一定の効果が見られた。一方で、特殊詐欺や自転車盗等が増加傾向にあるため、今後は手口に合わせた啓発を強化し、引き続き自衛意識の向上と未然防止対策に取り組む。	市民活動課
5-4-3	消費者・生活者の安心の確保		消費生活相談件数	その他	件	210	284	—	—	(取組内容)消費生活センターにおいて消費生活相談を実施し、気軽に相談できる体制づくりに努めた。 (取組評価)多様化・複雑化する相談内容に対し、専門知識を持つ相談員が適切に対応している。被害の拡大防止や未然防止対策として、気軽に相談できる体制がしっかりと機能している。	市民活動課

基本目標6 環境にやさしい生活を送るまち(環境)

番号	主な取組名称	重点P	指標名	指標の種別	単位	基準値 (R5)	実績値 (R7)	目標値 (R15)	対基準値	令和7年度の取組内容／評価	担当課
6-1-1	省エネルギー化及び再生可能エネルギーの利用促進	重1	省エネルギー設備導入補助事業などにより導入設置した累計設備数	上がると良い指標	台	1,300	1,770	2,100	向上	(取組内容)補助事業について、広報やホームページで周知するとともに、窓口で案内を配布した。 (取組評価)7月には補助事業の予算上限に達したことから、市民からの需要や環境配慮への意識が非常に高いことが伺える。本事業が市内における省エネルギー設備の導入推進に大きく貢献しており、有効性は高いと評価する。	環境課
6-1-2	公共施設の省エネルギー化の促進		行政活動による温室効果ガス発生量	下がると良い指標	t-CO2	7,423	5,853	3,493	向上	(取組内容)市庁舎の全照明をLED化するとともに、二酸化炭素排出係数の低い電力調達先とし、二酸化炭素排出量の削減に努めた。 (取組評価)電力使用量自体の減少及び電力調達先の排出係数により、温室効果ガス排出量が減少している。エネルギー使用量そのものを減らすために、引き続き照明のLED化等に取り組む。	環境課
6-1-3	環境保全意識の向上		環境学習講座の開催数	上がると良い指標	回	67	63	80	低下	(取組内容)環境学習講座を企画し、ホームページや公共施設等でのチラシ設置により周知を図った。 (取組評価)令和7年度の講座開催数は前年度から横ばいを維持している。市民が環境問題に関心を持ち、正しい知識・認識を得るための啓発活動として一定の有効性があるため、引き続き実施する。	環境課
6-2-1	生活衛生環境の保全		生活衛生環境に関する相談対応件数	下がると良い指標	件	244	122	220	向上	(取組内容)市民からの環境に関する相談を受け付け、対応や経過について随時記録を行い、迅速な解決に努めた。 (取組評価)継続性のない一過性の問題について記録基準を明確化したことで、限られた人員でもより迅速な対応が可能となった。引き続き、適切な苦情対応を行い、市民が安心できる生活衛生環境の保全に取り組む。	環境課
6-2-2	ペットなどの適正飼育の推進		ペットの適正飼育に関する個別啓発件数	下がると良い指標	件	20	2	15	向上	(取組内容)ペットの適正飼育を推進するため、犬のふん害防止看板を配布したほか、飼い主に対して予防的な声掛けを行った。 (取組評価)地道な啓発活動や声掛けにより、ふん害や鳴き声に関する苦情が減少している。市民のモラル向上とペットの適正飼育の推進に直結している。	環境課
6-2-3	適正なし尿処理の推進		し尿処理量	その他	kl	12,672	11,012	—	—	(取組内容)し尿・浄化槽汚泥の処理を安定して行うことができるよう、処理施設の適切な運転管理等を実施した。 (取組評価)公共下水道の整備に伴う下水道接続世帯の増加により、し尿処理量は例年減少傾向にある。今後は搬入量の減少に見合った施設の効率的な管理や計画的な整備を検討していく必要がある。	環境課
6-3-1	ごみの発生抑制の推進		市民一人一日当たりのごみ総量	下がると良い指標	g	815	746	733	向上	(取組内容)一般廃棄物(ごみ)処理基本計画に基づき、ごみの発生抑制を推進するため、生ごみ減量講習会等を実施した。 (取組評価)講習会等の施策を通じて市民の意識啓発が図られ、結果としてごみの総排出量が減少した。ごみの発生抑制において着実な成果を上げている。	環境課
6-3-2	ごみの資源化の推進		燃えるごみ中の資源ごみ混入率	下がると良い指標	%	25.4	25.7	18.2	低下	(取組内容)一般廃棄物(ごみ)処理基本計画に基づき、広報等周知啓発の強化により資源化促進に取り組んだ。 (取組評価)周知啓発を実施したものの、市民への分別の推進は十分とは言えない状況である。今後は周知にとどまらず、資源ごみの収集方法の検討など、実効性のある資源化施策を進める必要がある。	環境課
6-3-3	ごみ収集・処理体制の整備		ごみ残置シール貼付数	下がると良い指標	件	4,672	3,095	3,970	向上	(取組内容)ごみ残置シールの貼り付けや、広報と同時配布の「ごみの出し方」などによる市民への周知を実施した。 (取組評価)上記の取組により、ごみ残置シールの貼り付け数は減少しており、市民のごみ分別意識の高揚と適正排出の徹底が進んでおり、事業の有効性は高いと評価する。	環境事業センター

基本目標7 笑顔と活力があふれるまち（産業・にぎわい・多様性）

番号	主な取組名称	重点P	指標名	指標の種別	単位	基準値 (R5)	実績値 (R7)	目標値 (R15)	対基準値	令和7年度の取組内容／評価	担当課
7-1-1	地域商工業の活性化	重4	地域経済循環率	上がると良い指標	%	63.2	68.4	67.0	向上	(取組内容)地域の企業の中小企業やスタートアップを支援するため、省エネ設備への更新等における補助金の拡充や創業セミナーを実施した。 (取組評価)実績値(令和4年調査)には直近の取組結果は反映されていないが、地域経済循環率の向上には、物価高騰等に直面する市内事業者への支援や事業者同士の取引促進が必要不可欠であり、引き続き地域経済の活性化を図っていく必要がある。	産業課
7-1-1	地域商工業の活性化	重4	製造品出荷額	その他	百万円	157,735	185,085	—	—	(取組内容)数値取得年度(令和6年度)は、物価高騰対策として省エネ設備投資促進補助金を実施し、製造業等のエネルギーコスト等の固定費削減を支援した。 (取組評価)長期化するエネルギーコストの増加に対し、市が早期に固定費削減支援の対応をとったことが、事業者の負担軽減と経営力の向上に大きく寄与している。	産業課
7-1-2	事業者への支援		市内の事業者数	上がると良い指標	者	2,485	2,485	2,500	横ばい	(取組内容)小規模企業等補助金等により、継続操業を支援した。 (取組評価)実績値(令和3年調査)には直近の支援効果は反映されていないが、市内事業者数の維持・向上には、事業者が抱える課題を的確に把握し、時代の変化に合わせた必要な補助制度等による支援を適切に行い、継続操業を後押ししていく必要がある。	産業課
7-1-3	創業者への支援	重2	創業支援を受けた創業者の数	上がると良い指標	人	36	27	38	低下	(取組内容)特定創業支援等事業として全5回の創業セミナー、その後のフォローアップセミナーを実施した。また、市及び連携支援事業者(市商工会、瀬戸信用金庫、日本政策金融公庫)に相談窓口を設置した。 (取組評価)長期的なプランで創業を検討する相談が多く、実際の創業件数は基準値を下回った。しかし、先輩創業者との交流や過去の受講者に対する継続的な案内により、創業者特有の不安解消に繋がっており、創業予定者への支援として機能している。	産業課
7-2-1	就労機会の提供		就労機会の提供数	上がると良い指標	回	3	4	4	向上	(取組内容)地元で働きたい方を応援するため、瀬戸・尾張旭雇用対策協議会等を通じて、地元企業の就職フェア等を4回実施した。(就職フェアin瀬戸、インターンシップマッチングフェア、愛窯進路フェア、介護就職面談会) (取組評価)近隣自治体や関係機関と連携し、学生から中高年層まで幅広い世代を対象とした面接会等を実施したことで、多様な人材に対して地元企業における就労機会の提供を実現することができた。	産業課
7-2-2	就労相談の実施		「尾張旭市ふるさとハローワーク」への相談件数	その他	件	6,048	4,804	—	—	(取組内容)市民の就労を支援するため、ふるさとハローワークにおいて求職者への職業相談や職業紹介、求人情報の提供を実施した。 (取組評価)ハローワークのインターネットサービス等によるオンラインの自主応募が普及した影響で、対面での相談件数は減少傾向にある。今後は、オンラインだけでは解決できない不安を抱える求職者に対し、対面ならではのきめ細かな就職相談を実施する役割が求められる。	産業課
7-2-3	勤労者支援の実施		労働相談の相談件数	その他	件	2	5	—	—	(取組内容)愛知県労働福祉課から派遣される相談員による巡回労働相談(対面)を月1回実施した。 (取組評価)対面での相談に加え、速やかに相談を希望する方には電話相談窓口(あいち労働総合支援フロア労働相談コーナー)を適切に案内することで、相談者の状況に応じた柔軟な対応ができています。引き続き、勤労者の問題解決と負担軽減に向けた支援を実施する。	産業課
7-3-1	尾張旭まつりの開催	重1	尾張旭まつりへの来場者数	上がると良い指標	人	62,000	99,000	115,000	向上	(取組内容)市民や事業者等と連携し、尾張旭まつり(さくらまつり、あさひ夏フェスタ、市民祭、農業まつり)を実施した。 (取組評価)夏まつりの中止等により前年度との単純比較は難しいものの、各まつりの開催により多くの来場者が訪れた。誰もが安全安心に楽しく参加できるイベントとして、まちのにぎわい創出と交流促進に大きく寄与した。	産業課
7-3-2	地域資源の創出・磨き上げ	重1	尾張旭まち案内への来場者数	上がると良い指標	人	9,181	10,253	13,000	向上	(取組内容)観光展やスポーツイベントでの自治体PRデーへの参加や百貨店等を含む催事販売により、お土産や旭色等の魅力商品やおいしい紅茶のまち日本一を積極的にPRした。 (取組評価)対面イベント等での積極的なPRにより、本市の特産品や魅力が広く発信できている。来場者数は微減したものの、地域資源の創出・磨き上げと知名度向上につながった。	産業課
7-4-1	ジェンダー平等社会の推進	重2	ジェンダー平等に係る啓発件数	上がると良い指標	件	25	31	28	向上	(取組内容)第3次尾張旭市男女共同参画プランに基づき、多様性社会の実現のため、多種多様な啓発を実施した。 (取組評価)啓発実施予定であった防災訓練が中止となったものの、ロビー展示やライトアップ、各種講座等の開催などにより、前年度を上回る啓発を実施することで、幅広い層の意識啓発につなげることができた。	暮らし政策課
7-4-2	多文化共生社会の推進	重2	日本語教室の参加者数	上がると良い指標	人	625	1,973	950	向上	(取組内容) ・本市で生活する外国人が地域住民と人間関係をつくれるよう、初期日本語教室の開催及び市民グループが運営する日本語教室への支援を行った。 ・市民と外国人の交流を支援し、国際交流の推進を図るため、尾張旭国際交流会に補助金を交付するなどの支援を行った。 (取組評価)教室が継続して3講座開設されており、参加者数も大幅に向上している。地域住民との人間関係の構築や国際交流が活発に行われており、多文化共生社会の推進において事業の有効性は高い。	暮らし政策課

基本目標8 未来につながる行政経営（行政経営）

番号	主な取組名称	重点P	指標名	指標の種別	単位	基準値 (R5)	実績値 (R7)	目標値 (R15)	対基準値	令和7年度の取組内容／評価	担当課
8-1-1	行政情報の積極的な発信		報道機関への情報提供件数	上がると良い指標	件	220	589	250	向上	(取組内容)行政情報を必要とする人に適切に提供するため、庁内へ情報提供を働きかけるとともに、報道機関や市HP等を通じて積極的な発信を行った。 (取組評価)庁内への働きかけや研修効果により、報道機関への情報提供数が前年比で53件増加した。新聞等での掲載率も維持されており、市の行政情報や魅力を広克的確に発信することに成功している。	広報戦略課
8-1-1	行政情報の積極的な発信		行政情報の受取者数	上がると良い指標	千人	1,549	1,570	1,567	向上	(取組内容) ・イベント等や催しの申込みSNSを活用して登録者増加を図った。 ・市制55周年カウントダウン企画やおいしい紅茶の店を特集する企画を行うなど、発信の頻度、質の向上を図った。 ・各種研修を行い、情報発信について啓発した。 (取組評価)多様な企画やSNSの積極活用により、行政情報や市の魅力を市内外の多くの方に迅速に届けることができた。必要とする人に情報が適切に行き渡る体制が強化されており、有効性は高いと評価する。	広報戦略課
8-1-2	愛着と誇りの醸成	重4	本市に愛着を感じている市民の割合	上がると良い指標	%	81.3	—	85.0	—	(取組内容)人口問題対策本部において全庁的な視点で次年度の取組をまとめた。 (取組評価)各課に照会を行い、人口問題の解決に資する幅広い取組の実施・検討ができた。今後はこれらの施策を着実に実行し、人口誘導を推進する。	企画課
8-1-3	広聴活動の充実		市長と市民との対話件数	上がると良い指標	回	24	26	30	向上	(取組内容) ・本地原小、白鳳小及び旭小で「市長、小学校に行く！」を実施した。 ・全中学校を対象に「市長を囲む子ども会議」を実施した。 ・市内企業を対象に「市長の企業訪問」を実施した。 ・市長と市民が対話した催し等を広報おわりあさひ及び市ホームページに掲載した。 (取組評価)取組を通じて、市長と市民が直接対話する機会が確保され、市政に対する生の声を把握することができた。また、その様子を広く発信することで、広聴活動の充実と開かれた市政の推進に寄与した。	広報戦略課
8-2-1	効果的・効率的な行政運営		見直しを行った事務事業の割合	その他	%	—	100	100	—	(取組内容)重点パッケージに紐づく事務事業について、行政経営本部会議や行政経営ヒアリング等で状況把握と、事務事業評価表の作成を実施した。 (取組評価)行政経営ヒアリング等を通じて各事業の課題や成果を的確に把握し、事業の見直しに向けた精査を行った。これにより、効果的かつ効率的な行政運営が着実に推進されている。	企画課
8-2-2	デジタル化の推進	重1	電子申請を可能とする手続数	上がると良い指標	件	67	99	100	向上	(取組内容) ・窓口開庁時間の短縮に向けて、LoGoフォーム、マイナポータル(ぴったりサービス)の利用を庁内に呼び掛け、市ホームページのオンライン手続きポータルサイトへの掲載内容を調整した。 ・マイナポータル(ぴったりサービス)のキャッシュレス決済を令和6年度から引き続き利用した。 (取組評価)オンライン手続きの利用増加により、市民が24時間いつでも申請可能となるなど利便性が向上した。	情報政策課
8-2-3	健全な財政運営		将来負担比率	その他	%	—	—	—	-	(状況)令和7年度決算では将来負担率は発生していない。 (原因)充当可能財源等の額が将来負担額を上回ったため。	財政課
8-2-3	健全な財政運営		実質公債費比率(3か年平均)	その他	%	3.6	3.7	—	-	(状況)実質公債費比率(3か年平均)は、前回取得値の4.0%と比べ、0.3ポイント低下した。 (原因)元利償還金に充当可能と算定された特定財源の額が令和4年度決算額と比較して増加した等のため。	財政課
8-2-4	公共施設の適正な管理		個別施設計画策定率	その他	%	100	100	100	—	(取組内容)各施設の個別施設計画の策定状況を随時確認し、必要に応じた計画改定の支援を行った。 (取組評価)各部署への支援により個別施設計画策定率100%を維持しており、公共施設の適正な管理と長寿命化の推進に寄与している。	財政課
8-2-5	組織・人事マネジメントの充実		職員一人当たりの研修参加回数	上がると良い指標	回	5.4	5.6	5.7	向上	(取組内容)令和7年度の研修計画に基づき、職層や課題に応じた各種研修を実施した。 (取組評価)計画に基づき各種研修を着実に実施したことで、職員一人ひとりの能力向上が図られた。複雑化する行政課題に対し、迅速かつ適切に対応できる職員の育成と、市役所全体の組織力向上につながっている。	人事課